井上機工株式会社

2022年度環境経営レポート

（対象期間:2022年4月1日～2023年3月31日）

（第18版　2023年　5月作成）

作成日:2023年5月25日

目　次

項　　目	ページ
Ⅰ.環境経営方針	3
Ⅱ.組織の概要	4～6
Ⅲ.環境経営目標	7
Ⅳ.環境経営活動計画	8～12
Ⅴ.環境経営目標の実績	13～14
Ⅵ.環境経営計画の取組結果とその評価，次年度の環境経営計画	15～23
Ⅶ.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反，訴訟の有無	24
Ⅷ.代表者による全体の評価と見直し・指示	25

四方弁組立部品

コンデパイプ

アウトパイプ

四方弁配管

エコキュート

コネクトパイプ

列車用沸騰冷却管

アルミニウム製空調冷媒配管

Ⅰ.環境経営方針

基本方針

井上機工株式会社は、空調機向け配管部品の製造及び納入を行う生産活動において環境に与える影響の低減と環境保全に対する取り組みを経営課題の一つと考え、取引先と共に地球環境・資源の保護及び環境汚染防止に努め、環境経営の継続的改善を誓約します。

行動方針

日常行われる生産活動の中で下記の「行動方針」を従業員全員参加で具体的に模索、行動し継続していきます。

1　生産活動で発生する騒音、振動、大気・水質汚染の低減に努め、事業活動に適用する環境関連法規等を遵守します。

2　生産活動により消費する原材料・エネルギーを大切にし、RoHS・REACHを始めとした有害物質の使用禁止・削減管理に努めます。

3　生産活動により発生するCO_2の削減、廃棄物の低減化、並びにリサイクル化の推進、及び節水に努めます。

4　生産活動による不良品の低減を図り、ムダの排除に努めます。

5　生産活動による環境保全を目指し、下記の目標に基づき企業活動を行います。

①二酸化炭素排出量削減と省エネ推進に努めます。
②産業廃棄物排出量削減と3R推進に努めます。
③水使用量及び総排水量削減の徹底に努めます。
④化学物質の削減に努めます。
⑤環境負荷の削減と環境に配慮した活動に努めます。

6　全従業員の環境教育・訓練を実施し周辺地域の清掃活動及び緑化推進等により、近隣住民との共生、調和に努めます。

制定：2006年6月5日
第3回改定：2019年4月1日

井上機工株式会社
取締役社長
藤澤　尚朗

Ⅱ. 組織の概要

2022. 12. 22現在

(1) 名称及び代表者名

井上機工株式会社
代表取締役　　井上　芳久
代表取締役社長　　藤澤　尚朗

(2) 所在地

本　　社 〒４１８－００２１
静岡県富士宮市杉田１１３８

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者　技術部部長　　渡辺　心一
担当者　技術部　係長　　渡辺　一也
連絡先　TEL　0544－24－7050
FAX　0544－24－7073
Eメール　kazuya.watanabe@inouekiko.co.jp

(4) 事業内容

空調機・冷凍機の部品加工及び組み立て

(5) 事業の規模

	単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
売上高	百万円	4, 210	4, 122	3, 970	5, 088
従業員	人	99	125	150	150
床面積	㎡	5, 127	5, 127	5, 127	5, 658

事業年度　　4月1日～3月31日

(6) 認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：井上機工株式会社
対象事業所：　本社
〒４１８－００２１
静岡県富士宮市杉田１１３８番

新潟支店
〒９５５－００８３
新潟県三条市荒町２丁目２３－２２

活動：　空調機・冷凍機の部品加工及び組み立て

(7)敷地概要

本社工場

◎都市計画法での用途地域指定　　市街化調整区域

◎静岡県生活環境の保全等に関する条例での地域指定

・騒音　：第２種区域　　・水質　：潤井川水系

・振動　：第１種区域の２　　・大気　：富士宮市

・悪臭　：F種（臭気指数：１８）

新潟支店

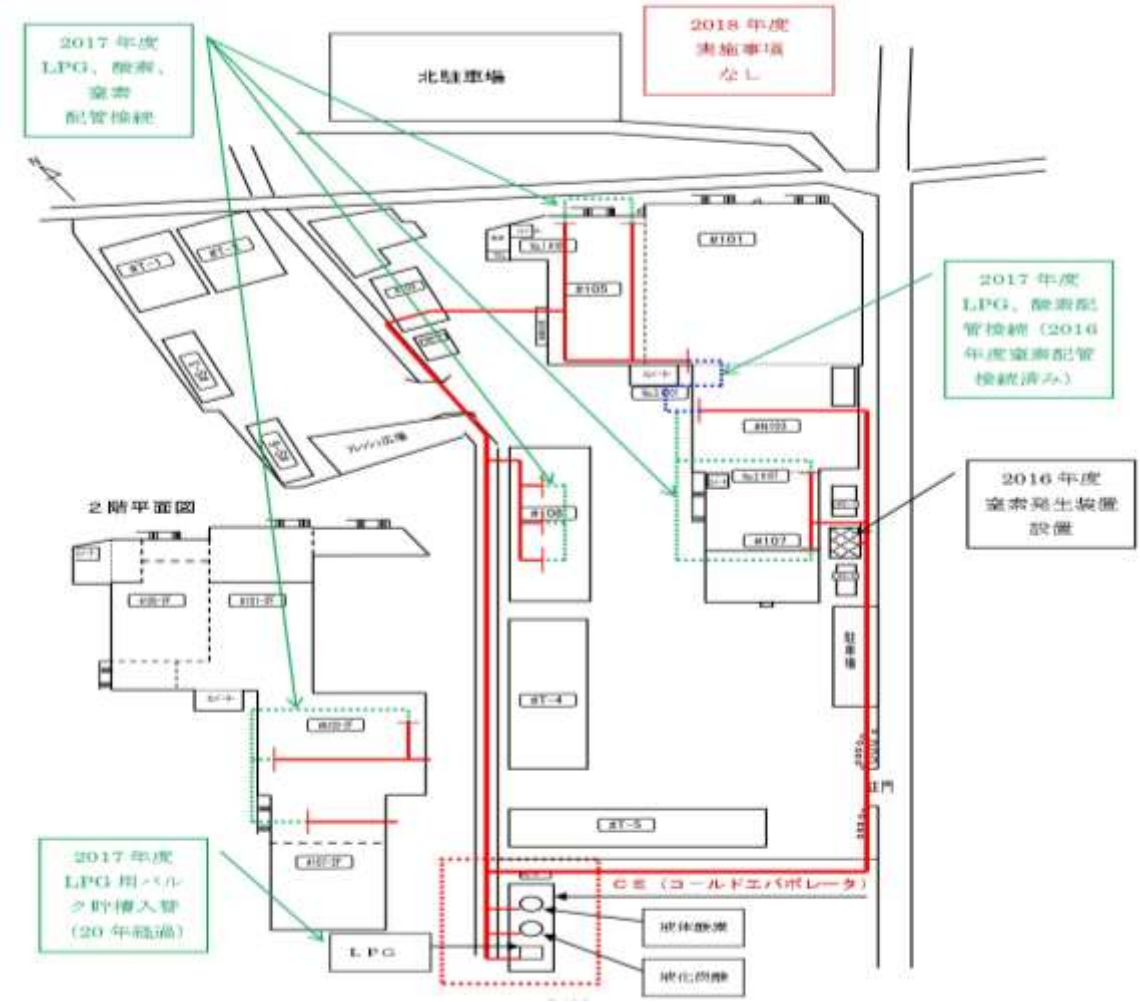
◎都市計画法での用途地域指定　　第１種住居地域

・騒音　：第２種区域　　・水質　：五十嵐川水系

・振動　：第１種区域　　・大気　：三条市

・悪臭　：第１種区域（臭気指数：１0）

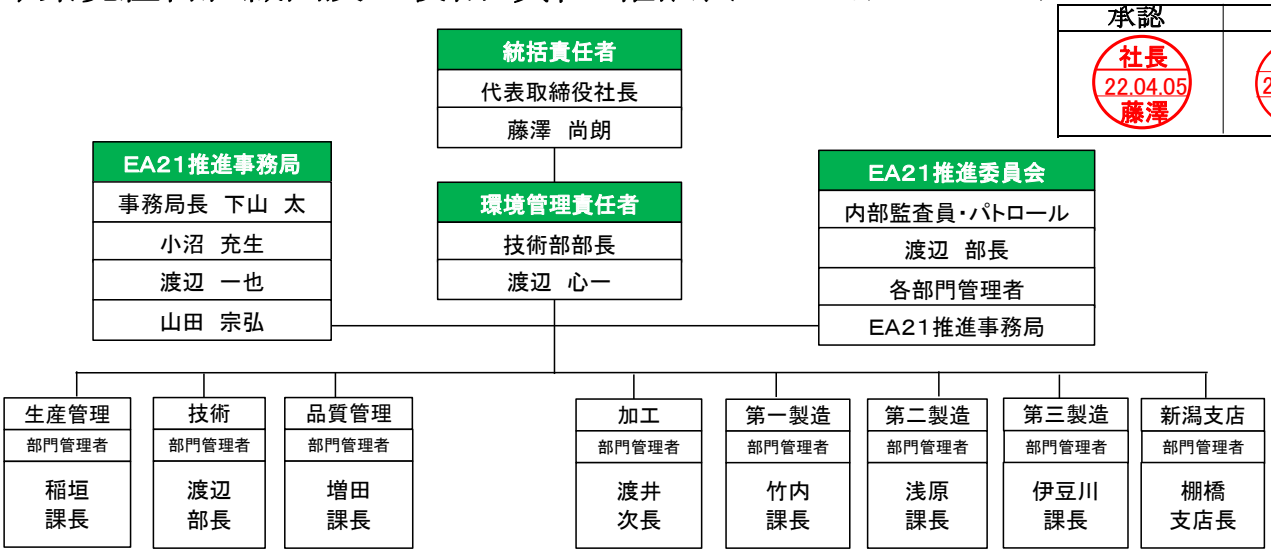
(8)CE(コールドエバポレーター)配置図



(9)環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日：　2022年4月4日

承認	作成
社長 22.04.05 藤澤	技術 22.04.04 山本



	役割・責任・権限
統括責任者 代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認
環境管理 責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
EA21 推進事務局	・環境管理責任者の補佐、の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備え付けと地域事務局への送付)
EA21 推進委員会	・環境経営計画の審議 ・環境活動実績の確認・評価
部門管理者 (長)	・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取組の重要性の自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動への参加

Ⅲ. 環 境 経 営 目 標

環境目標値は、2017年度実績値を基準として、策定した。

環境目標項目		目標削減率	基準年度					
		単位	2017年実績	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
二酸化炭素排出削減-省エネ推進	原単位	kg-CO_2/万円	**2.88**	2.82	2.79	2.76	2.74	2.71
(二酸化炭素)	削減率	%	**－**	2.0%	3.0%	4.0%	5.0%	6.0%
(参考値:対基準年度売上より算出)	総排出量	kg-CO_2	**1,084,566**	1,062,875	1,052,029	1,041,183	1,030,338	1,019,492
電力量の削減	原単位	kWh/万円	**4.75**	4.63	4.58	4.54	4.49	4.44
	削減率	%	**－**	2.5%	3.5%	4.5%	5.5%	6.5%
(参考値:対基準年度売上より算出)	購入量	kWh	**1,786,428**	1,741,767	1,723,903	1,706,039	1,688,174	1,670,310
LPGの削減	原単位	kg/十万円	**1.37**	1.36	1.35	1.33	1.32	1.30
	削減率	%	**－**	1.0%	2.0%	3.0%	4.0%	5.0%
(参考値:対基準年度売上より算出)	購入量	kg	**51,634**	51,117	50,601	50,084	49,568	49,052
灯油の削減	原単位	L/百万円	**3.14**	3.11	3.08	3.05	3.01	2.98
	削減率	%	**－**	1.0%	2.0%	3.0%	4.0%	5.0%
(参考値:対基準年度売上より算出)	購入量	L	**11,810**	11,692	11,574	11,456	11,338	11,220
ガソリンの削減	原単位	L/百万円	**5.76**	5.59	5.53	5.47	5.41	5.36
	削減率	%	**－**	3.0%	4.0%	5.0%	6.0%	7.0%
(参考値:対基準年度売上より算出)	購入量	L	**21,680**	21,030	20,813	20,596	20,380	20,163
廃棄物排出量削減-3R推進	原単位	kg/十万円	**3.79**	3.73	3.69	3.65	3.62	3.58
(廃棄物)	削減率	%	**－**	1.5%	2.5%	3.5%	4.5%	5.5%
(参考値:対基準年度売上より算出)	総排出量	t	**142.4**	140.2	138.8	137.4	136.0	134.6
一般廃棄物の削減	原単位	kg/十万円	**2.57**	2.55	2.52	2.49	2.47	2.44
(ﾀﾞﾝﾎﾞｰﾙ再生利用)	削減率	%	**－**	1.0%	2.0%	3.0%	4.0%	5.0%
(参考値:対基準年度売上より算出)	排出量	t	**96.7**	95.8	94.8	93.8	92.8	91.9
一般廃棄物の削減	原単位	kg/百万円	**4.04**	4.00	3.96	3.92	3.88	3.84
(紙・ﾋﾞﾆｰﾙの熱回収)	削減率	%	**－**	1.0%	2.0%	3.0%	4.0%	5.0%
(参考値:対基準年度売上より算出)	排出量	t	**15.2**	15.1	14.9	14.7	14.6	14.4
産業廃棄物の削減	原単位	kg/百万円	**8.11**	7.79	7.70	7.62	7.54	7.46
(銅・鉄くず・他再生利用)	削減率	%	**－**	4.0%	5.0%	6.0%	7.0%	8.0%
(参考値:対基準年度売上より算出)	排出量	t	**30.5**	29.3	29.0	28.7	28.4	28.1
水使用量及び総排水量削減-節水の徹底	原単位	㎥/百万円	**1.34**	1.31	1.30	1.29	1.27	1.26
(水)	削減率	%	**－**	2.0%	3.0%	4.0%	5.0%	6.0%
(参考値:対基準年度売上より算出)	総排水量	㎥	**5,022**	4,921	4,871	4,821	4,771	4,720
水道水の節水	原単位	㎥/百万円	**0.42**	0.41	0.41	0.40	0.40	0.39
(上水)	削減率	%	**－**	2.0%	3.0%	4.0%	5.0%	6.0%
(参考値:対基準年度売上より算出)	排水量	㎥	**1,578**	1,547	1,531	1,515	1,499	1,484
トイレの節水	原単位	㎥/百万円	**0.53**	0.52	0.52	0.51	0.51	0.50
(上水)	削減率	%	**－**	2.0%	3.0%	4.0%	5.0%	6.0%
(参考値:対基準年度売上より算出)	排水量	㎥	**2,009**	1,969	1,948	1,928	1,908	1,888
工業用水の節水	原単位	㎥/百万円	**0.38**	0.37	0.37	0.37	0.36	0.36
(冷却水)	削減率	%	**－**	2.0%	3.0%	4.0%	5.0%	6.0%
(参考値:対基準年度売上より算出)	排水量	㎥	**1,435**	1,406	1,392	1,377	1,363	1,349
化学物質の削減								
トリクレン洗浄の削減	原単位	kg/百万円	**0.54**	0.54	0.53	0.53	0.52	0.52
(トリクロロエチレン)	削減率	%	**－**	0.0%	1.0%	2.0%	3.0%	4.0%
(参考値:対基準年度売上より算出)	購入量	kg	**2,030**	2,030	2,010	1,989	1,969	1,949
自らが生産・提供する製品及びｻｰﾋﾞｽに関する環境配慮								
廃材料(銅材)の削減	原単位	kg/百万円	**2.70**	2.57	2.54	2.51	2.48	2.46
(上銅・下銅排出量)	削減率	%	**－**	5.0%	6.0%	7.0%	8.0%	9.0%
(参考値:対基準年度売上より算出)	排出量	t	**10.1**	9.6	9.5	9.4	9.3	9.2
環境CSR対応	原材料・補助副資材のRoHS規制物質の不含有の継続・REACH規則の対応等							
工場敷地内及び周辺清掃・緑化推進活動	月1回の全体清掃活動・緑化推進活動の継続							
職場環境改善の推進	喫煙者への禁煙要請・非喫煙者の優先雇用							

※ 二酸化炭素排出係数 2017年度係数
電力(kg-CO_2/kWh):①東京電力0.491、②中部電力0.482、③アスエネ0.374(2021年5月～)
④東電PG0.411、⑤グリムスパワー0.486

LPG:3.00kg-CO_2/kg
ガソリン2.32kg-CO_2/L
灯油2.49kg-CO_2/L

策定:2018年5月3日
更新:2022年12月5日

統括責任者	管理責任者	作成者
社長 18.05.03 佐野	技術 18.05.03 藤澤	生管 18.05.02 小沼

様式:6-01　環境経営目標及び環境経営計画の策定

Ⅳ. 環境経営活動計画

作成日:　2022年3月29日
更新日:　2023年5月23日

承認	確認	作成
社長 23.05.23 塩原 代表者	技術 23.05.23 渡辺 環境管理責任者	技術 23.05.22 山本

方針	目　標（方針に掲げた取組項目は必ず挙げる）（負荷の自己チェックで特定した項目）		目標達成手段（取組の自己チェックで◎をつけた項目）	責任部門 責任者(担当者)	スケジュール 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	取組評価（計）	定期的な確認・評価・是正（挽回策）	
二酸化炭素排出削減－省エネ推進	電力	基準年度 2017 データ	（購入量）	kWh	152,425	149,647	169,615	185,372	138,074	122,696	127,830	114,470	162,806	146,325	157,016	160,152	1,786,428		
			（売上高）	千円	331,288	346,179	396,824	403,722	279,786	209,363	232,647	237,680	323,855	266,502	312,508	421,027	3,761,379		
			購入量（単月原単位）	kWh/万円	4.60	4.32	4.27	4.59	4.93	5.86	5.49	4.82	5.03	5.49	5.02	3.80	4.75		
			購入量（累計原単位）	kWh/万円	4.60	4.46	4.39	4.45	4.52	4.67	4.75	4.76	4.79	4.85	4.87	4.75	4.75		
			CO2排出量（単月）	kg-CO_2	74,122	72,750	82,207	87,517	65,200	57,935	60,357	54,054	76,887	69,126	74,168	75,636	849,960		
			CO2排出量（単月原単位）	kg-CO_2/万円	2.24	2.10	2.07	2.17	2.33	2.77	2.59	2.27	2.37	2.59	2.37	1.80	2.26		
			CO2排出量（累計）	kg-CO_2	74,122	146,872	229,079	316,596	381,795	439,730	500,087	554,142	631,029	700,156	774,324	849,960	849,960		
			CO2排出量（累計原単位）	kg-CO_2/万円	2.24	2.17	2.13	2.14	2.17	2.24	2.27	2.27	2.29	2.31	2.32	2.26	2.26		
		今期 2022 データ	（購入量）	kWh	147,513	92,300	147,318	169,050	123,063	150,368	113,862	111,386	119,740	117,771	123,039	129,218	1,544,628		
			（売上高）	千円	400,285	266,097	472,267	580,027	365,365	537,836	432,035	441,813	418,354	342,223	371,636	459,997	5,087,935		
			購入量（単月原単位）	kWh/万円	3.69	3.47	3.12	2.91	3.37	2.80	2.64	2.52	2.86	3.44	3.31	2.81	3.04		
			購入量（累計原単位）	kWh/万円	3.69	3.60	3.40	3.24	3.26	3.16	3.09	3.02	3.00	3.04	3.06	3.04	3.04		
			CO2排出量（単月）	kg-CO_2	54,897	34,304	54,885	74,200	53,885	65,951	49,944	48,851	57,745	56,893	59,440	62,484	673,479		
			CO2排出量（単月原単位）	kg-CO_2/万円	1.37	1.29	1.16	1.28	1.47	1.23	1.16	1.11	1.38	1.66	1.60	1.36	1.32		
			CO2排出量（累計）	kg-CO_2	54,897	89,201	144,086	218,286	272,171	338,123	388,066	436,917	494,662	551,555	610,996	673,479	673,479		
			CO2排出量（累計原単位）	kg-CO_2/万円	1.37	1.34	1.27	1.27	1.31	1.29	1.27	1.41	1.26	1.30	1.32	1.32	1.32		
	電力使用量6.5%削減		・エアコンの省エネ運転の推進（±1℃、-1H）	技術:山本F	フィルター清掃＆点検		設定温度の見直し		運転時間の見直し			冬期使用の見直し						1/4半期	電気料金の高騰で更なる省エネ活動が求められるなか、目標を達成できたことは評価できる。継続して省エネ活動に取り組んで欲しい。
	基準年度実績 1,786,428 kWh		（設定温度及び運転時間の見直し・適正化）																
	2017 年度 849,960 kg-CO_2		・省エネ型生産設備の導入（増設及び老朽設備の更新）	技術:渡辺B	老朽化設備のリストアップ			メーカーに見積り依頼及び発注			設備設置場所の整備			導入後の稼動状況チェックと実績の評価					
	基準年度(2017) 4.75 kWh/万円																	上半期	蛍光灯をLED照明にすべて交換した。工場内も全体的明るくなった。引き続き休憩時の照明OFF等の活動を継続して環境に配慮して欲しい。
	使用する二酸化炭素排出係数; 中電0.482 kg-CO_2/kWh		・窒素発生装置の省エネ運転の推進	技術:渡辺GF	タイマー運転状況の確認		タイマー運転時間の見直し				装置メンテナンス		タイマー運転時間の見直し		実績の評価				
			（生産に見合った!タイマー運転の活用）	基準年 kWh/万円	4.60	4.32	4.27	4.59	4.93	5.86	5.49	4.82	5.03	5.49	5.02	3.80	4.75		
				購入量（累計）	4.60	4.46	4.39	4.45	4.52	4.67	4.75	4.76	4.79	4.85	4.87	4.75	4.75	3/4半期	電気料金の高騰が続いている中、電力会社の切り替えによる電気料金の削減を実施した。引き続き使用量の削減に取り組んでいく。
	2022 年度目標		【目標未達成時の挽回策】	目　標（単月）	4.30	4.04	4.00	4.29	4.61	5.48	5.14	4.50	4.70	5.13	4.70	3.56	4.44		
	基準年度比 93.5%			（累計）	4.30	4.17	4.11	4.16	4.23	4.36	4.44	4.45	4.48	4.54	4.55	4.44	4.44		
	削減率 -6.5%			実　績（単月）	3.69	3.47	3.12	2.91	3.37	2.80	2.64	2.52	2.86	3.44	3.31	2.81	3.04		
	目標値 4.44 kWh/万円			（累計）	3.69	3.60	3.40	3.24	3.26	3.16	3.09	3.02	3.00	3.04	3.06	3.04	3.04	総括	電気使用量、電気料金ともに削減がうまくいき、目標を大きく上回る結果になった。今後も引き続きしっかり取り組んで更なる削減に期待したい。
				月次評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
				累計評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	LPG	基準年度 2017 データ	（購入量）	kg	4,473	5,419	5,786	5,384	3,730	3,041	2,946	3,107	4,418	3,444	4,171	5,714	51,634		
			（売上高）	千円	331,288	346,179	396,824	403,722	279,786	209,363	232,647	237,680	323,855	266,502	312,508	421,027	3,761,379		
			購入量（単月原単位）	kg/十万円	1.35	1.57	1.46	1.33	1.33	1.45	1.27	1.31	1.36	1.29	1.33	1.36	1.37		
			購入量（累計原単位）	kg/十万円	1.35	1.46	1.46	1.43	1.41	1.41	1.40	1.39	1.39	1.38	1.37	1.37	1.37		
			CO2排出量（単月）	kg-CO_2	13,418	16,258	17,359	16,152	11,189	9,124	8,839	9,322	13,253	10,332	12,513	17,143	154,901		
			CO2排出量（単月原単位）	kg-CO_2/十万円	4.05	4.70	4.37	4.00	4.00	4.36	3.80	3.92	4.09	3.88	4.00	4.07	4.12		
			CO2排出量（累計）	kg-CO_2	13,418	29,675	47,035	63,186	74,375	83,499	92,338	101,660	114,913	125,245	137,757	154,901	154,901		
			CO2排出量（累計原単位）	kg-CO_2/十万円	4.05	4.38	4.38	4.28	4.23	4.24	4.20	4.17	4.16	4.14	4.12	4.12	4.12		
		今期 2022 データ	（購入量）	kg	5,918	4,066	11,090	16,481	12,594	13,132	6,771	5,208	7,870	9,318	9,268	8,550	110,266		
			（売上高）	千円	400,285	266,097	472,267	580,027	365,365	537,836	432,035	441,813	418,354	342,223	371,636	459,997	5,087,935		
			購入量（単月原単位）	kg/十万円	1.48	1.53	2.35	2.84	3.45	2.44	1.57	1.18	1.88	2.72	2.49	1.86	2.17		
			購入量（累計原単位）	kg/十万円	1.48	1.50	1.85	2.19	2.41	2.41	2.29	2.15	2.12	2.17	2.20	2.17	2.17		
			CO2排出量（単月）	kg-CO_2	17,754	12,199	33,269	49,443	37,782	39,396	20,313	15,624	23,607	27,955	27,801	25,649	330,792		
			CO2排出量（単月原単位）	kg-CO_2/十万円	4.44	4.58	7.04	8.52	10.34	7.32	4.70	3.54	5.64	8.17	7.48	5.58	6.50		
			CO2排出量（累計）	kg-CO_2	17,754	29,953	63,222	112,665	150,447	189,843	210,156	225,780	249,387	277,342	305,143	330,792	330,792		
			CO2排出量（累計原単位）	kg-CO_2/十万円	4.44	4.49	5.55	6.56	7.22	7.24	6.88	6.46	6.37	6.52	6.59	6.50	6.50		
	LPG使用量5.0%削減		・最新式自動ロウ付機の導入	技術:渡辺B	最新方式の導入			品質（出来栄え）状況調査			導入エリアの確保と装置導入			導入後の稼動状況チェックと実績の評価				1/4半期	前年度から引き続き、GHPによる使用量が多く、目標に及ばなかった。
	基準年度実績 51,634 kg		（フラックス分離投入式:不良削減、燃焼効率改善）		導入					導入		導入							
	2017 年 154,901 kg-CO_2		・エアコンの省エネ運転の推進（±1℃、-1H）	技術:渡辺GF	フィルター清掃＆点検		設定温度の見直し		運転時間の見直し			冬期使用の見直し						上半期	夏季の猛暑でGHP使用が増えた。熱中症対策もあり、挽回策も機能しなかった。来期から目標設定を見直して、少しでも削減できるように取り組んでいく。
	基準年度(2017) 1.37 kg/十万円		（設定温度及び運転時間の見直し・適正化）	基準年 kg/十万円	1.35	1.57	1.46	1.33	1.33	1.45	1.27	1.31	1.36	1.29	1.33	1.36	1.37		
	使用する二酸化炭素排出係数; 3.00			購入量（累計）	1.35	1.46	1.46	1.43	1.41	1.41	1.40	1.39	1.39	1.38	1.37	1.37	1.37		
	2022 年度目標		【目標未達成時の挽回策】	目　標（単月）	1.28	1.49	1.39	1.27	1.27	1.38	1.20	1.24	1.30	1.23	1.27	1.29	1.30	3/4半期	調整器やホースの交換で漏れ対策を講じたが、削減には至らなかった。
	基準年度比 95%		不良品削減の推進(4月)(6月)	（累計）	1.28	1.39	1.39	1.35	1.34	1.34	1.33	1.32	1.32	1.31	1.31	1.30	1.30		
	削減率 -5%		GHP交互運転の推進(5月)(11月)	実　績（単月）	1.48	1.53	2.35	2.84	3.45	2.44	1.57	1.18	1.88	2.72	2.49	1.86	2.17		
	目標値 1.30 kg/十万円		調整器・ホースの確認、交換(8月)	（累計）	1.48	1.50	1.85	2.19	2.41	2.41	2.29	2.15	2.12	2.17	2.20	2.17	2.17	総括	様々な対策を行ったものの、目標値と使用量の差が大きく、残念な結果になった。次年度から目標値の見直しを行い現実的な数字で削減に取り組んでいく必要がある。
			GHP省エネ運転の推進+1℃-1H(7月)(9月)(2月)	月次評価	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×		
			ロウ付設備火力調整時間短縮推進(10月)(3月)	累計評価	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		

方針	目　標 （方針に掲げた取組項目は必ず挙げる） （負荷の自己チェックで特定した項目）		目標達成手段 （取組の自己チェックで◎をつけた項目）	責任部門 責任者（担当者）	スケジュール 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	取組評価（計）	定期的な確認・評価・是正（挽回策）	
	灯油	基準年度	（購入量）	L	1,397	378	47	260	288	522	217	493	2,003	1,713	3,183	1,309	11,810		
		2017	（売上高）	千円	331,288	346,179	396,824	403,722	279,786	209,363	232,647	237,680	323,855	266,502	312,508	421,027	3,761,379		
		データ	購入量　（単月原単位）	L/百万円	4.22	1.09	0.12	0.64	1.03	2.49	0.93	2.07	6.18	6.43	10.19	3.11	3.14		
			購入量　（累計原単位）	L/百万円	4.22	2.62	1.70	1.41	1.35	1.47	1.41	1.48	2.03	2.42	3.14	3.14	3.14		
			CO2排出量　（単月）	kg-CO_2	3,479	941	117	647	717	1,300	540	1,228	4,987	4,265	7,926	3,259	29,407		
			CO2排出量　（単月原単位）	kg-CO_2/百万円	10.50	2.72	0.29	1.60	2.56	6.21	2.32	5.16	15.40	16.01	25.36	7.74	7.82		
			CO2排出量　（累計）	kg-CO_2	3,479	4,420	4,537	5,184	5,901	7,201	7,741	8,969	13,956	18,222	26,147	29,407	29,407		
			CO2排出量　（累計原単位）	kg-CO_2/百万円	10.50	6.52	4.22	3.51	3.36	3.66	3.52	3.68	5.05	6.02	7.83	7.82	7.82		
		今期	（購入量）	kg	565	84	250	46	362	41	352	427	115	302	1,166	1,110	4,820		
		2022	（売上高）	千円	400,285	266,097	472,267	580,027	365,365	537,836	432,035	441,813	418,354	342,223	371,636	459,997	5,087,935		
		データ	購入量　（単月原単位）	L/百万円	1.41	0.32	0.53	0.08	0.99	0.08	0.81	0.97	0.27	0.88	3.14	2.41	0.95		
			購入量　（累計原単位）	L/百万円	1.41	0.97	0.79	0.55	0.63	0.51	0.56	0.61	0.57	0.60	0.80	0.95	0.95		
			CO2排出量　（単月）	kg-CO2	1,407	209	623	4,830	901	102	876	513	286	299	2,903	2,253	15,203		
			CO2排出量　（単月原単位）	kg-CO_2/百万円	3.51	0.79	1.32	8.33	2.47	0.19	2.03	1.16	0.68	0.87	7.81	4.90	2.99		
			CO2排出量　（累計）	kg-CO2	1,407	1,616	2,239	7,069	7,970	8,072	8,948	9,461	9,748	10,047	12,950	15,203	15,203		
			CO2排出量　（累計原単位）	kg-CO_2/百万円	3.51	2.43	1.97	4.11	3.82	3.08	2.93	2.71	2.49	2.36	2.80	2.99	2.99		
	灯油使用量5.0%削減		・社員への啓蒙活動の更なる推進	生管：山田T	ポスター等を活用した啓蒙活動実施							灯油ストーブの点検実施			稼動チェックと実績の評価			1/4半期	梅雨も短く、晴天に恵まれたこともあり、灯油の使用量を削減することが出来た。
	基準年度実績　11,810 L		（省エネ運転の推進）															上半期	夏場の猛暑もあり、使用回数も減り、削減に繋がった。
	2017 年　29,407 kg-CO_2			基準年　L/百万円	4.22	1.09	0.12	0.64	1.03	2.49	0.93	2.07	6.18	6.43	10.19	3.11	3.14		
	基準年度(2017)　3.14 L/百万円			購入量　（累計）	4.22	2.62	1.70	1.41	1.35	1.47	1.41	1.48	2.03	2.42	3.14	3.14	3.14		
	使用する二酸化炭素排出係数；　2.49																		
	2022 年度目標		【目標未達成時の挽回策】	目　標　（単月）	4.01	1.04	0.11	0.61	0.98	2.37	0.89	1.97	5.88	6.11	9.68	2.95	2.98	3/4半期	LPガス乾燥機を導入したっことで、灯油使用量を削減することに成功した。更なる削減に期待する。
	基準年度比　95%			（累計）	4.01	2.49	1.61	1.34	1.28	1.40	1.34	1.40	1.93	2.30	2.99	2.98	2.98		
	削減率　−5%			実　績　（単月）	1.41	0.32	0.53	0.08	0.99	0.08	0.81	0.97	0.27	0.88	3.14	2.41	0.95	総括	1年を通して、削減ができた。天候や環境の変化もあったが、削減への意識向上が結果に繋がった形になった。今後も更なる削減に取り組んでいく。
	目標値　2.98 L/百万円			（累計）	1.41	0.97	0.79	0.55	0.63	0.51	0.56	0.61	0.57	0.60	0.80	0.95	0.95		
				月次評価	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○		
				累計評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	ガソリン	基準年度	（購入量）	L	2,096	1,607	2,009	2,345	1,652	1,268	1,709	1,520	1,821	1,417	2,090	2,147	21,680		
		2017	（売上高）	千円	331,288	346,179	396,824	403,722	279,786	209,363	232,647	237,680	323,855	266,502	312,508	421,027	3,761,379		
		データ	購入量　（単月原単位）	L/百万円	6.33	4.64	5.06	5.81	5.91	6.06	7.35	6.40	5.62	5.32	6.69	5.10	5.76		
			購入量　（累計原単位）	L/百万円	6.33	5.47	5.32	5.45	5.52	5.58	5.77	5.83	5.80	5.76	5.85	5.76	5.76		
			CO2排出量　（単月）	kg-CO2	4,862	3,729	4,661	5,441	3,833	2,941	3,966	3,527	4,224	3,286	4,848	4,980	50,299		
			CO2排出量　（単月原単位）	kg-CO2/百万円	14.68	10.77	11.75	13.48	13.70	14.05	17.05	14.84	13.04	12.33	15.51	11.83	13.37		
			CO2排出量　（累計）	kg-CO2	4,862	8,591	13,252	18,692	22,526	25,467	29,433	32,960	37,184	40,470	45,318	50,299	50,299		
			CO2排出量　（累計原単位）	kg-CO2/百万円	14.68	12.68	12.34	12.65	12.81	12.95	13.38	13.52	13.47	13.37	13.57	13.37	13.37		
		今期	（購入量）	kg	2,128	1,721	1,981	2,892	1,788	2,433	2,102	2,023	1,987	1,795	2,089	1,924	24,863		
		2022	（売上高）	千円	400,285	266,097	472,267	580,027	365,365	537,836	432,035	441,813	418,354	342,223	371,636	459,997	5,087,935		
		データ	購入量　（単月原単位）	L/百万円	5.32	6.47	4.20	4.99	4.89	4.52	4.86	4.58	4.75	5.25	5.62	4.18	4.89		
			購入量　（累計原単位）	L/百万円	5.32	5.78	5.12	5.07	5.04	4.94	4.93	4.88	4.87	4.90	4.96	4.89	4.89		
			CO2排出量　（単月）	kg-CO2	4,860	3,836	4,457	6,637	4,070	5,567	4,683	4,573	4,521	4,008	4,846	4,382	56,441		
			CO2排出量　（単月原単位）	kg-CO2/百万円	12.14	14.42	9.44	11.44	11.14	10.35	10.84	10.35	10.81	11.71	13.04	9.53	11.09		
			CO2排出量　（累計）	kg-CO2	4,860	8,696	13,153	19,790	23,860	29,427	34,110	38,683	43,204	47,213	52,059	56,441	56,441		
			CO2排出量　（累計原単位）	kg-CO2/百万円	12.14	13.05	11.55	11.51	11.45	11.22	11.17	11.07	11.04	11.09	11.25	11.09	11.09		
	ガソリン使用量7.0%削減		・社員への啓蒙活動の更なる推進	生管：山田T	ポスター等を活用した啓蒙活動実施			社用車の定期整備の実施							稼動チェックと実績の評価			1/4半期	省エネ運転の取組で削減できている。引き続き推進していく。
	基準年度実績　21,680 L		（省エネ運転の推進）															上半期	製品の運送回数が減ったこともあり、削減に繋がっている。エコドライブを心がけて今後も取り組んで欲しい。
	2017 年　50,299 kg-CO2			基準年　L/百万円	6.33	4.64	5.06	5.81	5.91	6.06	7.35	6.40	5.62	5.32	6.69	5.10	5.76		
	基準年度(2017)　5.76 L/百万円			購入量　（累計）	6.33	5.47	5.32	5.45	5.52	5.58	5.77	5.83	5.80	5.76	5.85	5.76	5.76		
	使用する二酸化炭素排出係数；　2.32																		
	2022 年度目標		【目標未達成時の挽回策】	目　標　（単月）	6.01	4.41	4.81	5.52	5.61	5.75	6.98	6.08	5.34	5.05	6.35	4.84	5.36	3/4半期	常日頃からの取り組みが結果として表れた。目標を達成出来ている。
	基準年度比　93%			（累計）	6.01	5.19	5.05	5.18	5.25	5.30	5.48	5.54	5.51	5.47	5.56	5.48	5.36		
	削減率　−7%			実　績　（単月）	5.32	6.47	4.20	4.99	4.89	4.52	4.86	4.58	4.75	5.25	5.62	4.18	4.89	総括	1年を通して、しっかり削減が出来て、目標を達成することが出来た。EV車なども検討して更に削減出来るように活動していく。
	目標値　5.36 L/百万円			（累計）	5.32	5.78	5.12	5.07	5.04	4.94	4.93	4.88	4.87	4.90	4.96	4.89	4.89		
				月次評価	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○		
				累計評価	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		

方針	目　標 （方針に掲げた取組項目は必ず挙げる） （負荷の自己チェックで特定した項目）		目標達成手段 （取組の自己チェックで◎をつけた項目）	責任部門 責任者（担当者）	スケジュール 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	取組評価 （計）		定期的な確認・評価・是正（挽回策）
廃棄物排出量削減－3R推進	**一般廃棄物（段ボール）**	基準年度 2017 データ	（廃棄量）	kg	8,910	9,290	11,120	11,900	6,985	5,470	5,365	5,400	7,790	6,640	7,530	10,255	96,655		
			（売上高）	千円	331,288	346,179	396,824	403,722	279,786	209,363	232,647	237,680	323,855	266,502	312,508	421,027	3,761,379		
			廃棄量 （単月原単位）	kg/十万円	2.69	2.68	2.80	2.95	2.50	2.61	2.31	2.27	2.41	2.49	2.41	2.44	2.57		
			廃棄量 （累計原単位）	kg/十万円	2.69	2.69	2.73	2.79	2.74	2.73	2.68	2.64	2.62	2.60	2.59	2.57	2.57		
		今期 2022 データ	（廃棄量）	kg	7,310	3,850	10,000	11,250	7,250	8,540	7,410	6,630	6,340	4,850	5,030	7,350	85,810		
			（売上高）	千円	400,285	266,097	472,267	580,027	365,365	537,836	432,035	441,813	418,354	342,223	371,636	459,997	5,087,935		
			購入量 （単月原単位）	L/十万円	1.83	1.45	2.12	1.94	1.98	1.59	1.72	1.50	1.52	1.42	1.35	1.60	1.69		
			購入量 （累計原単位）	L/十万円	1.83	1.67	1.86	1.89	1.90	1.84	1.82	1.78	1.75	1.73	1.70	1.69	1.69		
	一般廃棄物（段ボール）の削減 基準年度実績 2017 年 96,655 kg 基準年度（2017） 2.57 kg/十万円 2022 年度目標 基準年度比 95% 削減率 −5% 目標値 2.44 kg/十万円		・梱包材（段ボール）のリユース・リサイクルの推進	生管：山田T	梱包材（段ボール）のリユース・リサイクルの推進													1/4半期	コロナウイルスの影響で部材調達が困難になり、生産量が減った。比例して段ボール廃棄量も減った。
																		上半期	毎月削減できていることは評価できる。生産量の浮き沈みが激しく、先行き不透明だが、今後もしっかり取り組んでいく。
				基準年 kg/十万円	2.69	2.68	2.80	2.95	2.50	2.61	2.31	2.27	2.41	2.49	2.41	2.44	2.57		
				廃棄量 （累計）	2.69	2.69	2.73	2.79	2.74	2.73	2.68	2.64	2.62	2.60	2.59	2.57	2.57		
			【目標未達成時の挽回策】	目　標 （単月）	2.56	2.55	2.66	2.80	2.37	2.48	2.19	2.16	2.29	2.37	2.29	2.31	2.44	3/4半期	再利用などで、廃棄量の削減に繋がり、目標を達成出来ている。引き続きしっかり取り組んでいく。
				（累計）	2.56	2.55	2.59	2.65	2.61	2.59	2.55	2.51	2.48	2.47	2.46	2.44	2.44		
				実　績 （単月）	1.83	1.45	2.12	1.94	1.98	1.59	1.72	1.50	1.52	1.42	1.35	1.60	1.69	総括	1年通してしっかり取り組めていることがわかる結果になった。再利用や、業者回収を引き続き行っていき、更なる削減に期待したい。
				（累計）	1.83	1.67	1.86	1.89	1.90	1.84	1.82	1.78	1.75	1.73	1.70	1.69	1.69		
				月次評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
				累計評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	一般廃棄物（紙・ビニール）	基準年度 2017 データ	（廃棄量）	kg	1,200	1,413	1,591	1,687	954	1,131	1,147	887	1,327	1,154	1,244	1,448	15,182		
			（売上高）	千円	331,288	346,179	396,824	403,722	279,786	209,363	232,647	237,680	323,855	266,502	312,508	421,027	3,761,379		
			廃棄量 （単月原単位）	kg/百万円	3.62	4.08	4.01	4.18	3.41	5.40	4.93	3.73	4.10	4.33	3.98	3.44	4.04		
			廃棄量 （累計原単位）	kg/百万円	3.62	3.86	3.91	3.99	3.89	4.05	4.15	4.11	4.11	4.12	4.11	4.04	4.04		
		今期 2022 データ	（廃棄量）	kg	1,027	757	1,319	1,285	1,023	1,208	1,086	888	1,060	922	857	1,104	12,535		
			（売上高）	千円	400,285	266,097	472,267	580,027	365,365	537,836	432,035	441,813	418,354	342,223	371,636	459,997	5,087,935		
			購入量 （単月原単位）	kg/百万円	2.57	2.84	2.79	2.22	2.80	2.25	2.51	2.01	2.53	2.69	2.31	2.40	2.46		
			購入量 （累計原単位）	kg/百万円	2.57	2.68	2.72	2.55	2.60	2.52	2.52	2.46	2.47	2.48	2.47	2.46	2.46		
	一般廃棄物（紙・ビニール）の削減 基準年度実績 2017 年 15,182 kg 基準年度（2017） 4.04 kg/百万円 2022 年度目標 基準年度比 95% 削減率 −5% 目標値 3.83 kg/百万円		・包装材（ビニール）の再利用（リユース）	技術：渡辺GF	梱包材（ビニール袋）の再利用推進													1/4半期	再利用や、ペーパーレスが少しずつ進んでいる感じがする。継続していく。
			・両面コピーの推進（リユース）	生管：山田T	両面コピー・裏紙使用の推進														
																		上半期	部材も値上がりしてきている為、削減は経費削減にもつながるので意識して取り組んでいく。
				基準年 kg/百万円	3.62	4.08	4.01	4.18	3.41	5.40	4.93	3.73	4.10	4.33	3.98	3.44	4.04		
				廃棄量 （累計）	3.62	3.86	3.91	3.99	3.89	4.05	4.15	4.11	4.11	4.12	4.11	4.04	4.04		
			【目標未達成時の挽回策】	目　標 （単月）	3.44	3.88	3.81	3.97	3.24	5.13	4.68	3.54	3.89	4.11	3.78	3.27	3.83	3/4半期	メール等で情報を共有することで、廃棄量の削減が可能になった。継続して取り組んでいく。
				（累計）	3.44	3.66	3.72	3.79	3.70	3.85	3.94	3.90	3.90	3.92	3.91	3.83	3.83		
				実　績 （単月）	2.57	2.84	2.79	2.22	2.80	2.25	2.51	2.01	2.53	2.69	2.31	2.40	2.46	総括	1年を通して、大きく目標を達成できたことは評価できる。まだ改善の余地はあると感じた。今後の活動に期待したい。
				（累計）	2.57	2.68	2.72	2.55	2.60	2.52	2.52	2.46	2.47	2.48	2.47	2.46	2.46		
				月次評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
				累計評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	産業廃棄物（銅・鉄くず・他）	基準年度 2017 データ	（廃棄量）	kg	0	2,949	0	2,910	0	1,904	920	1,830	3,885	0	5,790	10,302	30,490		
			（売上高）	千円	331,288	346,179	396,824	403,722	279,786	209,363	232,647	237,680	323,855	266,502	312,508	421,027	3,761,379		
			廃棄量 （単月原単位）	kg/百万円	0.00	8.52	0.00	7.21	0.00	9.09	3.95	7.70	12.00	0.00	18.53	24.47	8.11		
			廃棄量 （累計原単位）	kg/百万円	0.00	4.35	2.74	3.96	3.33	3.95	3.95	4.31	5.21	4.76	6.04	8.11	8.11		
		今期 2022 データ	（廃棄量）	kg	0	9,127	1,775	0	7,326	176	0	0	12,150	0	1,550	3,934	36,038		
			（売上高）	千円	400,285	266,097	472,267	580,027	365,365	537,836	432,035	441,813	418,354	342,223	371,636	459,997	5,087,935		
			購入量 （単月原単位）	kg/百万円	0.00	34.30	3.76	0.00	20.05	0.33	0.00	0.00	29.04	0.00	4.17	8.55	7.08		
			購入量 （累計原単位）	kg/百万円	0.00	13.70	9.57	6.34	8.75	7.02	6.03	5.26	7.81	7.18	6.94	7.08	7.08		
	産業廃棄物（銅・鉄くず・他）の削減 基準年度実績 2017 年 30,490 kg 基準年度（2017） 8.11 kg/百万円 2022 年度目標 基準年度比 92% 削減率 −8% 目標値 7.46 kg/百万円		・不用治工具の再利用（リユース）	技術：山本F	治工具再利用													1/4半期	不良品、不要在庫を一斉廃棄した為、廃棄量が増加してしまった。不良品削減を推進していく。
			・端材の分離廃棄（リディース）	技術：山本F				分別廃棄の周知											
			・廃棄物（設備）の再資源化（リサイクル）	技術：渡辺GF							廃却設備の洗出し＆修理							上半期	適正在庫管理や、不良品を作らない、作っても早期発見で最小限に抑える体制を構築していく必要がある。引き続き削減に取り組んでいく。
				基準年 kg/百万円	0.00	8.52	0.00	7.21	0.00	9.09	3.95	7.70	12.00	0.00	18.53	24.47	8.11		
				廃棄量 （累計）	0.00	4.35	2.74	3.96	3.33	3.95	3.95	4.31	5.21	4.76	6.04	8.11	8.11		
			【目標未達成時の挽回策】	目　標 （単月）	0.00	7.84	0.00	6.63	0.00	8.37	3.64	7.08	11.04	0.00	17.05	22.51	7.46	3/4半期	銅材の廃棄をまとめて行ったため、廃棄量が増加した。少しでも削減できるように取り組んでいく。
			不良品削減の推進(7月)	（累計）	0.00	4.00	2.53	3.65	3.07	3.63	3.63	3.97	4.80	4.37	5.56	7.46	7.46		
				実　績 （単月）	0.00	34.30	3.76	0.00	20.05	0.33	0.00	0.00	29.04	0.00	4.17	8.55	7.08	総括	1年を通して目標は達成できたが、もっと削減していく必要がある。意識の向上も含め、取り組みの見直しをして、さらに推進を進めていく。
				（累計）	0.00	13.70	9.57	6.34	8.75	7.02	6.03	5.26	7.81	7.18	6.94	7.08	7.08		
				月次評価	○	×	×	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○		
				累計評価	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○		

方針	目　標 （方針に掲げた取組項目は必ず挙げる） （負荷の自己チェックで特定した項目）		目標達成手段 （取組の自己チェックで◎をつけた項目）	責任部門 責任者（担当者）	スケジュール 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	取組評価 （計）	定期的な確認・評価・是正（挽回策）	
排水量削減一節水の徹底	水道水	基準年度 2017 データ	使用量（排水量）	㎥	0	969	0	1,156	0	832	0	714	0	560	0	791	5,022		
			（売上高）	千円	331,288	346,179	396,824	403,722	279,786	209,363	232,647	237,680	323,855	266,502	312,508	421,027	3,761,379		
			使用量（排水量）（単月原単位）	㎥/百万円	0.00	2.80	0.00	2.86	0.00	3.97	0.00	3.00	0.00	2.10	0.00	1.88	1.34		
			使用量（排水量）（累計原単位）	㎥/百万円	0.00	1.43	0.90	1.44	1.21	1.50	1.34	1.51	1.33	1.40	1.27	1.34	1.34		
		今期 2022 データ	（排水量）	㎥	3	336	5	428	7	539	7	358	5	274	8	384	2,355		
			（売上高）	千円	400,285	266,097	472,267	580,027	365,365	537,836	432,035	441,813	418,354	342,223	371,636	459,997	5,087,935		
			購入量（単月原単位）	㎥/百万円	0.01	1.26	0.01	0.74	0.02	1.00	0.02	0.81	0.01	0.80	0.02	0.83	0.46		
			購入量（累計原単位）	㎥/百万円	0.01	0.51	0.30	0.45	0.37	0.50	0.43	0.48	0.43	0.46	0.43	0.46	0.46		
	水使用量の削減 基準年度実績 2017 年　5,022 ㎥ 基準年度（2017）　1.34 ㎥/百万円 2022 年度目標 基準年度比　94% 削減率　−6% 目標値　1.25 ㎥/百万円		・節水（節水/不凍）コマの設置	技術：山本F	節水（節水/不凍）コマの設置													1/4半期	漏水等もなく、使用量削減が出来た。
			・昼食時お茶提供の見直し（給茶機導入廃棄ゼロ化）	経理：酒井T				昼食時お茶提供の見直し											
			・水道栓/配管のメンテナンス実施（漏水箇所修理）	技術：渡辺GF							水道栓/配管のメンテナンス実施							上半期	夏季の散水で使用量が増えたが、削減できている。
			・	基準年　㎥/百万円	0.00	2.80	0.00	2.86	0.00	3.97	0.00	3.00	0.00	2.10	0.00	1.88	1.34		
				（累計）	0.00	1.43	0.90	1.44	1.21	1.50	1.34	1.51	1.33	1.40	1.27	1.34	1.34		
			【目標未達成時の挽回策】	目　標　（単月）	0.00	2.63	0.00	2.69	0.00	3.73	0.00	2.82	0.00	1.98	0.00	1.77	1.25	3/4半期	取り組みがしっかりと反映された形になった。さらに削減を推進していく。
				（累計）	0.00	1.34	0.85	1.35	1.14	1.41	1.26	1.42	1.25	1.31	1.19	1.25	1.25		
				実　績　（単月）	0.01	1.26	0.01	0.74	0.02	1.00	0.02	0.81	0.01	0.80	0.02	0.83	0.46	総括	目標を大きく上回る結果となった。これといった問題もなく安定して削減が出来た。今後も引き続きしっかり取り組んでいってほしい。
				（累計）	0.01	0.51	0.30	0.45	0.37	0.50	0.43	0.48	0.43	0.46	0.43	0.46	0.46		
				月次評価	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	○		
				累計評価	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
化学物質の削減	トリクロロエチレン	基準年度 2017 データ	使用量（購入量）	kg	290	0	290	290	0	0	290	0	0	580	0	290	2,030		
			（売上高）	千円	331,288	346,179	396,824	403,722	279,786	209,363	232,647	237,680	323,855	266,502	312,508	421,027	3,761,379		
			使用量（排水量）（単月原単位）	kg/百万円	0.88	0.00	0.73	0.72	0.00	0.00	1.25	0.00	0.00	2.18	0.00	0.69	0.54		
			使用量（排水量）（累計原単位）	kg/百万円	0.88	0.43	0.54	0.59	0.49	0.44	0.53	0.48	0.42	0.57	0.52	0.54	0.54		
		今期 2022 データ	使用量（購入量）	kg	290	290	0	290	0	290	290	290	290	0	290	0	2,320		
			（売上高）	千円	400,285	266,097	472,267	580,027	365,365	537,836	432,035	441,813	418,354	342,223	371,636	459,997	5,087,935		
			購入量（単月原単位）	kg/百万円	0.72	1.09	0.00	0.50	0.00	0.54	0.67	0.66	0.69	0.00	0.78	0.00	0.46		
			購入量（累計原単位）	kg/百万円	0.72	0.87	0.51	0.51	0.42	0.44	0.47	0.50	0.52	0.48	0.50	0.46	0.46		
	トリクロロエチレン洗浄の削減 基準年度実績 2017 年　2,030 Kg 基準年度（2017）　0.54 kg/百万円 2022 年度目標 基準年度比　96% 削減率　−4% 目標値　0.52 kg/百万円		・トリクロロエチレン完全撤廃への取組み	製造：下山J	代替品洗浄テスト			代替品品質確認			代替品SDS＆届出確認			代替品に移行				1/4半期	トリクレンで洗浄する製品が減少傾向。完全撤廃できるように働きかけていく。
			・再生品購入の推進	製造：下山J	再生品購入の推進														
																		上半期	短時間洗浄がしっかり行われていた。削減・撤廃に向け活動を継続していく。
				基準年　kg/百万円	0.88	0.00	0.73	0.72	0.00	0.00	1.25	0.00	0.00	2.18	0.00	0.69	0.54		
				（累計）	0.88	0.43	0.54	0.59	0.49	0.44	0.53	0.48	0.42	0.57	0.52	0.54	0.54		
			【目標未達成時の挽回策】	目　標　（単月）	0.84	0.00	0.70	0.69	0.00	0.00	1.20	0.00	0.00	2.09	0.00	0.66	0.52	3/4半期	冷却がうまくいかず、使用量が増加した。設備のメンテナンスをしっかり行い、使用量を抑えていく。
			洗浄時間短縮の推進（1月）	（累計）	0.84	0.41	0.52	0.57	0.48	0.42	0.51	0.46	0.40	0.55	0.50	0.52	0.52		
				実　績　（単月）	0.72	1.09	0.00	0.50	0.00	0.54	0.67	0.66	0.69	0.00	0.78	0.00	0.46	総括	目標を達成することは出来たが、更なる削減、または完全撤廃に向けしっかり取り組んでいく必要がある。
				（累計）	0.72	0.87	0.51	0.51	0.42	0.44	0.47	0.50	0.52	0.48	0.50	0.46	0.46		
				月次評価	○	×	○	○	○	×	○	×	×	○	×	○	○		
				累計評価	○	×	○	○	○	×	○	×	×	○	×	○	○		

方針	目　標 （方針に掲げた取組項目は必ず挙げる） （負荷の自己チェックで特定した項目）	目標達成手段 （取組の自己チェックで◎をつけた項目）	責任部門 責任者（担当者）	スケジュール 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	取組評価（計）		定期的な確認・評価・是正（挽回策）
自らが生産・提供する製品及びサービスに関する環境配慮	**廃材料（上・下銅材）** 基準年度 2017 データ	（廃棄量）	kg	0	1,150	0	1,315	0	1,057	780	420	1,445	0	1,210	2,760	10,137		
		（売上高）	千円	331,288	346,179	396,824	403,722	279,786	209,363	232,647	237,680	323,855	266,502	312,508	421,027	3,761,379		
		廃棄量　（単月原単位）	kg/百万円	0.00	3.32	0.00	3.26	0.00	5.05	3.35	1.77	4.46	0.00	3.87	6.56	2.70		
		廃棄量　（累計原単位）	kg/百万円	0.00	1.70	1.07	1.67	1.40	1.79	1.96	1.94	2.23	2.04	2.21	2.70	2.70		
	今期 2022 データ	（廃棄量）	kg	0	7,067	0	0	3,981	0	0	0	10,070	0	0	3,934	25,052		
		（売上高）	千円	400,285	266,097	472,267	580,027	365,365	537,836	432,035	441,813	418,354	342,223	371,636	459,997	5,087,935		
		購入量　（単月原単位）	kg/百万円	0.00	26.56	0.00	0.00	10.90	0.00	0.00	0.00	24.07	0.00	0.00	8.55	4.92		
		購入量　（累計原単位）	kg/百万円	0.00	10.61	6.21	4.11	5.30	4.21	3.62	3.16	5.40	4.96	4.56	4.92	4.92		
	社長が取り上げた環境負荷の削減 **廃材料（上・下銅材）の削減** 基準年度実績 2017 年　10,137 kg 基準年度（2017）　2.70 kg/百万円 2022 年度目標 基準年度比　91% 削減率　−9% 目標値　2.48 kg/百万円	・在庫日数前年比15%削減	生管：山田T	製品、仕掛品、サービス部品、不動製品の適正把握（8,9,12,3月棚卸実施）													1/4半期	前年度から溜めてあった廃材を一斉に廃棄した。不良品削減を心がけて欲しい。
		（先行生産の徹底圧縮と必要性の理論的把握）						棚卸	棚卸			棚卸			棚卸			
		・端材の再利用	生管：山田T	端材再利用の推進													上半期	廃材の再利用、不良品削減、在庫管理の徹底で廃棄量の削減にしっかり取り組んで欲しい。
			基準年　kg/百万円	0.00	3.32	0.00	3.26	0.00	5.05	3.35	1.77	4.46	0.00	3.87	6.56	2.70		
			廃棄量　（累計）	0.00	1.70	1.07	1.67	1.40	1.79	1.96	1.94	2.23	2.04	2.21	2.70	2.70		
		【目標未達成時の挽回策】	目　標　（単月）	0.00	3.02	0.00	2.96	0.00	4.59	3.05	1.61	4.06	0.00	3.52	5.97	2.48	3/4半期	古い銅材や、使用のない銅材をまとめて廃棄したため、廃棄量が増加した。材料管理の見直しが必要。
			（累計）	0.00	1.54	0.97	1.52	1.28	1.63	1.78	1.76	2.03	1.85	2.01	2.45	2.48		
			実　績　（単月）	0.00	26.56	0.00	0.00	10.90	0.00	0.00	0.00	24.07	0.00	0.00	8.55	4.92	総括	前年度から貯蔵してあったもの、古い材料などの廃棄が多く、目標未達となった。管理の仕方や、不良品削減方法を見直し、削減に繋げていってほしい。
			（累計）	0.00	10.61	6.21	4.11	5.30	4.21	3.62	3.16	5.40	4.96	4.56	4.92	4.92		
			月次評価	○	×	○	○	×	○	○	○	×	○	○	×	×		
			累計評価	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	社長が取り上げた環境負荷の削減 **環境に配慮した活動**	・環境CSR対応	総責任：藤澤P								計画／実施					○	上半期	しっかりと取り組めている。習慣づけが出来ているので、継続していってほしい。
		・工場敷地内及び周辺清掃・緑化推進活動	技術：渡辺B	計画／実施	計画／実施	計画／実施	計画／実施	計画／実施	計画／実施	計画／実施	計画／実施	計画／実施	計画／実施	計画／実施	計画／実施	○		
																	総括	しっかり取り組めているが、何のために活動をしているのか今一度考えて取り組んでもらえるとさらに良くなると感じた。
			評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	課題を解決しチャンスを活かす取組	・技術の継承										計画／実施	計画／実施	計画／実施	計画／実施	○	上半期	新型コロナウイルスの影響が生産にも影響した。急な増産・減産で人材確保が大変だったが、みんなの協力で何とか乗り切ることが出来た。
		・企業PRによる顧客獲得								計画／実施	計画／実施					○		
		・事業拡大のための資金調達、人材確保		計画／実施	計画／実施	計画／実施	計画／実施	計画／実施								○		
		・新製品・商品開発							計画／実施	計画／実施	計画／実施	計画／実施				○	総括	5年ぶりの商工フェアで企業PRできて良かった。今後のことも考え、人材育成に力を入れていく。真摯に取り組んでいく必要性を感じた。
		・働き方改革											計画／実施	計画／実施	計画／実施	○		
			評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	年間活動計画																総括	引き続きの新型コロナウイルスで材料の供給困難など安定した生産が出来ず、非常に厳しい1年だった。そんな中でも、環境に配慮した活動の取り組みが出来たことは評価できる。まだまだ先行きが不透明で、光熱費、物価、銅材の高騰で厳しい状況は続くが、やれることからコツコツとしっかり取り組んでいってほしい。目標値や取り組み方法の見直しを行い、継続して活動を推進していく。
	環境教育　一般教育	・環境方針・目標・活動計画の周知	環境事務局			計画／実施			計画／実施	計画／実施		計画／実施		計画／実施		○		
	幹部教育	・環境目標・環境活動進捗状況確認・評価	環境管理責任者			計画／実施			計画／実施	計画／実施		計画／実施		計画／実施		○		
	特別教育	・資格取得・更新のため研修会参加	環境事務局					計画／実施								○		
	緊急事態対応訓練	・定期的に実施（火災対応訓練9月）	環境事務局						計画			実施				○		
	環境関連法規等の遵守評価	・遵守評価前に環境関連法規等の追加、改正を確認する	環境事務局					計画／実施								○		
	代表者による全体の評価と見直し	・振り返って方針・目標・活動計画等を見直す	代表者											計画／実施		○		
	環境経営レポート	・作成と地域事務局への送付	環境事務局											計画／実施		○		
	審査申し込み	・余裕をもって2か月前には申し込む							計画／実施							○		
	会社周辺の清掃活動		持ち回り	計画／実施	計画／実施	計画／実施	計画／実施	計画／実施	計画／実施	計画／実施	計画／実施	計画／実施	計画／実施	計画／実施	計画／実施	○		
環境管理責任者　検印			**技術部長**	技術 22.05.09 渡辺	技術 22.06.06 渡辺	技術 22.07.05 渡辺	技術 22.08.04 渡辺	技術 22.09.06 渡辺	技術 22.10.06 渡辺	技術 22.11.04 渡辺	技術 22.12.06 渡辺	技術 23.01.11 渡辺	技術 23.02.06 渡辺	技術 23.03.06 渡辺	技術 23.04.05 渡辺			
統括責任者　検印			**取締役社長**	社長 22.05.10 藤澤	社長 22.06.07 藤澤	社長 22.07.05 藤澤	社長 22.08.05 藤澤	社長 22.09.07 藤澤	社長 22.10.07 藤澤	社長 22.11.07 藤澤	社長 2212.07 藤澤	社長 23.01.12 藤澤	社長 23.02.07 藤澤	社長 23.03.07 藤澤	社長 23.04.06 藤澤			

保管：EA21推進事務局

V-1. 環境経営目標の実績-(負荷実績)

負荷実績は、その年の生産量に比例して購入量や排出量が増減する。

目標の達成評価は、基準年度(前年度)と評価年度(対象年度)の生産高比の比較(総売上比)とした。

◎:目標達成、○:基準年度以下、△:基準年度と比べ+10%未満、×:基準年度に比べ+10%以上

環境目標項目	基準年度比 単位	基準年度 2017年実績	2022年目標		評価年度 2022年実績	135% 売上高比	目標削減率 達成評価
二酸化炭素排出削減-省エネ	%	100%	95.0%		99%	73.5%	-21.5%
二酸化炭素総排出量	kg-CO_2	1,084,566	1,030,338		1,077,754	796,756	◎
電力使用量の削減(-5.5%)	%	100%	94.5%		86%	63.9%	-30.6%
電力購入量	kWh	1,786,428	1,688,174		1,544,628	1,141,904	◎
LPG使用量の削減(-4%)	%	100%	96.0%		214%	157.9%	61.9%
LPG購入量	kg	51,634	49,568		110,266	81,517	×
灯油使用量の削減(-4%)	%	100%	96.0%		41%	30.2%	-65.8%
灯油購入量	L	11,810	11,338		4,820	3,563	◎
ガソリン使用量の削減(-6%)	%	100%	94.0%		115%	84.8%	-15.2%
ガソリン購入量	L	21,680	20,380		24,863	18,380	◎
廃棄物排出量削減-3R推進	%	100%	95.5%		94%	69.8%	-25.7%
廃棄物の総排出量	t	142.3	135.9		134.3	99.3	◎
一般廃棄物の削減(-4%)	%	100%	96.0%		89%	65.6%	-30.4%
ﾀﾞﾝﾎﾞｰﾙ再生利用	t	96.7	92.8		85.8	63.4	◎
一般廃棄物の削減(-4%)	%	100%	96.0%		83%	61.0%	-35.0%
紙・ﾋﾞﾆｰﾙ熱回収	t	15.2	14.6		12.5	9.3	◎
産業廃棄物の削減(-7%)	%	100%	93.0%		118%	87.3%	-5.7%
銅・鉄くず・他再生利用	t	30.5	28.4		36.0	26.6	◎
排水量削減-節水の徹底	%	100%	95.0%		47%	34.7%	-60.3%
水の総排水量	㎥	5,022	4,771		2,355	1,741	◎
水道水の節水(-5%)	%	100%	95.0%		44%	32.9%	-62.1%
上水排水量	㎥	1,578	1,499		702	519	◎
トイレの節水(-5%)	%	100%	95.0%		49%	36.4%	-58.6%
下水排水量	㎥	2,009	1,908		990	732	◎
工業用水の節水(-5%)	%	100%	95.0%		46%	34.2%	-60.8%
冷却水排水量	㎥	1,435	1,363		663	490	◎
化学物質の削減							
トリクレン洗浄の削減(-3%)	%	100%	97.0%		113%	83.7%	-13.3%
トリクロロエチレン購入量	kg	2,030	1,969		2,298	1,699	◎
自らが生産・提供する製品及びｻｰﾋﾞｽに関する環境配慮							
廃材料(銅材)の削減(-7%)	%	100%	92.0%		247%	182.7%	90.7%
上銅・下銅排出量	t	10.1	9.3		25.1	18.5	×
環境CSR対応	原材料・補助副資材のRoHS規制物質の不含有の継続・REACH規則の対応等						◎
工場敷地内及び周辺清掃・緑化推進活動	月1回の全体清掃活動・緑化推進活動の継続						◎

※1 基準年度(2017年度)100を基に算出。

※2 二酸化炭素排出係数 2015年度係数

電力(kg-CO_2/kWh):①東京電力0.491、②中部電力0.482、③アスエネ0.374、④東電PG0.411、⑤グリムスパワー0.486

LPG3.00kg-CO_2/kg、ガソリン2.32kg-CO_2/L、灯油2.49kg-CO_2/L

作成:2023年5月22日

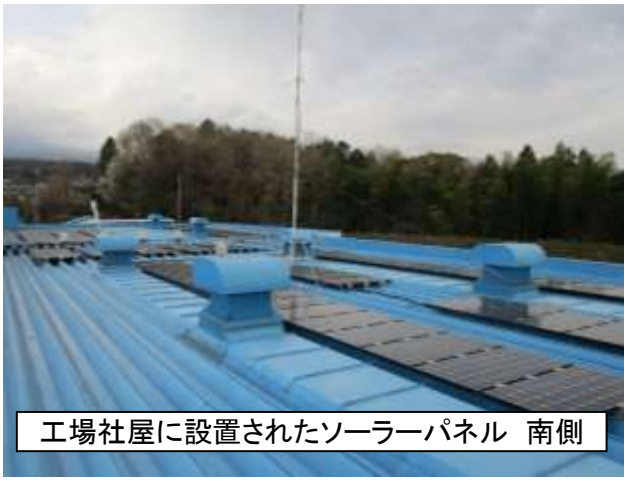
統括責任者	管理責任者	作成者
社長 23.05.22 塩原	技術 23.05.22 渡辺	技術 23.05.22 山本

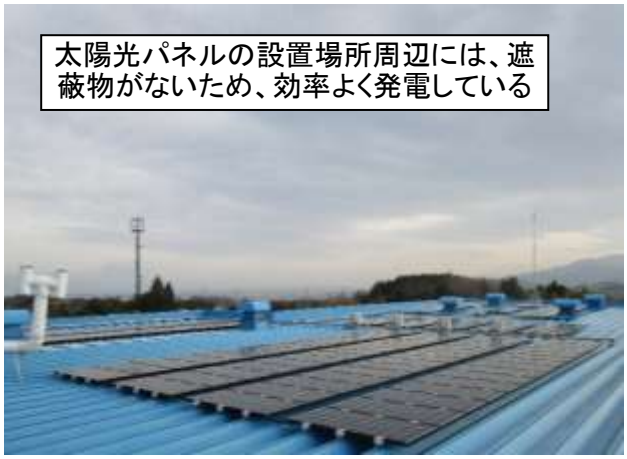
Ⅴ-2.環境経営目標の実績（太陽光発電売電実績）

(1)太陽光発電システムによる自然再生エネルギーの活用（売電実績・設備償却管理）

三菱電機製 太陽光発電システムを導入し、2013年11月6日より発電（売電）開始しました。
予定年間発電力量は**32,557kWh/年**で、二酸化炭素削減量に換算すると**-15,106kg-CO_2/年**に相当します。

工場社屋に設置したソーラーパネル　北側


工場社屋に設置されたソーラーパネル　南側


太陽光パネルの設置場所周辺には、遮蔽物がないため、効率よく発電している

太陽光パネルの表面状態を毎月確認している（良好）

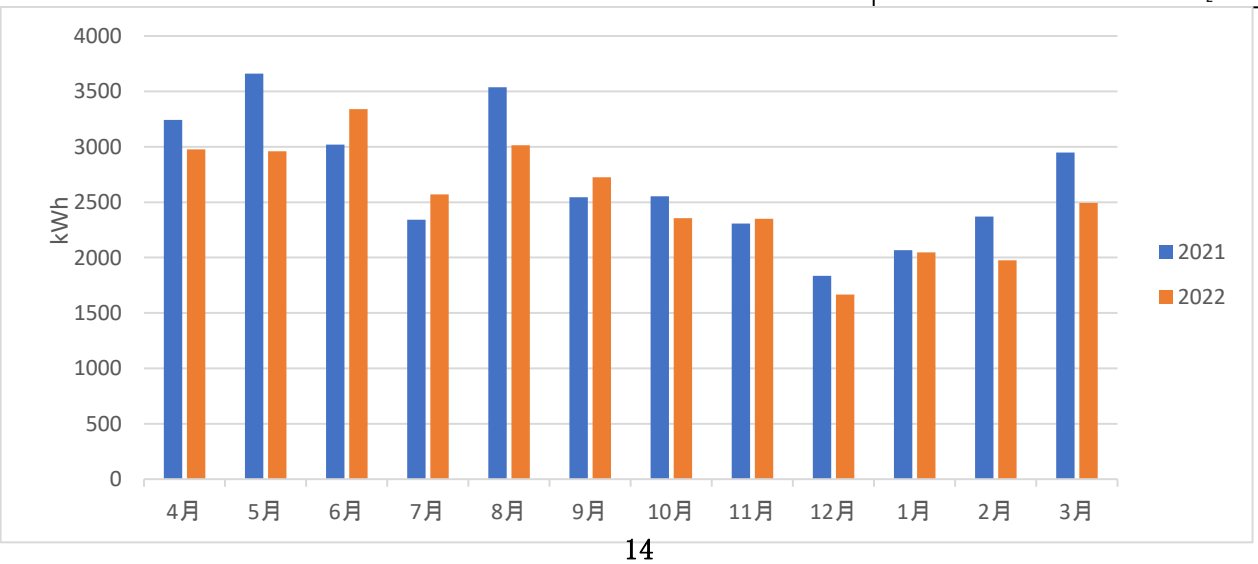
年間実績評価（月毎に、発電量（売電量と売電金額）を集計し、売電金額による設備投資の回収率を把握する。）

達成率	93.6%	設備投資回収率	122%	目標/年	32,557	kWh	実績/年 30,475 kWh

※設備投資回収率：2023年度3月までの売電金額の累計総額計算

2022年度　発電目標 93.6%で未達成！15115.6 kg-CO_2相当の温室効果ｶﾞｽ削減！

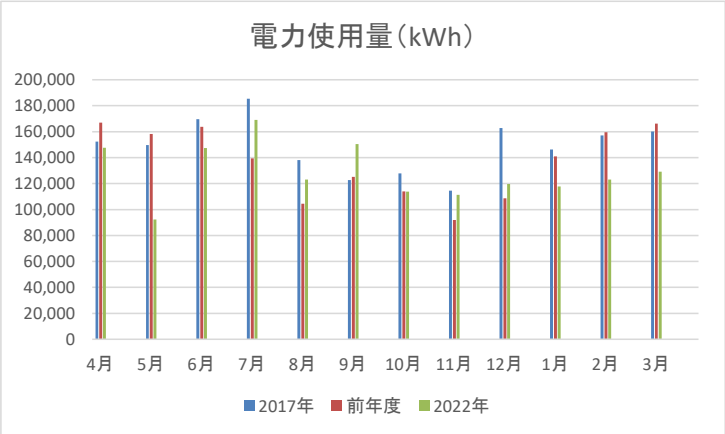
※二酸化炭素排出係数：0.496kg-CO_2/kWhで計算



Ⅵ-1.環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標：〇達成　×未達成
活動：◎よくできた　〇まあまあできた　△あまりできなかった　×全くできなかった

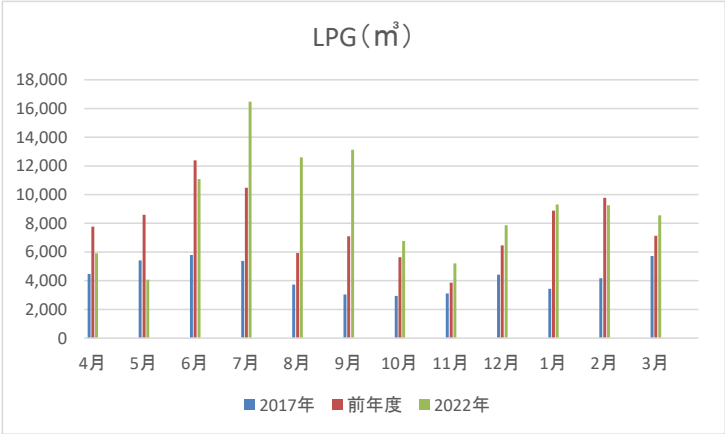
電力使用量6.5%削減	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	◎	電気使用量、電気料金ともに削減がうまくいき、目標を大きく上回る結果になった。今後も引き続きしっかり取り組んで更なる削減に期待したい。
・エアコンの省エネ運転の推進（±1℃、-1H） （設定温度及び運転時間の見直し・適正化）	〇	
・省エネ型生産設備の導入（増設及び老朽設備の更新）	〇	
・窒素発生装置の省エネ運転の推進	◎	



取組紹介　　照明LED化

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2017年	152,425	149,647	169,615	185,372	138,074	122,696	127,830	114,470	162,806	146,325	157,016	160,152	1,786,428
前年度	167,055	158,233	163,690	139,379	104,375	125,241	113,894	91,901	108,560	140,980	159,494	166,256	1,639,058
2022年	147,513	92,300	147,318	169,050	123,063	150,368	113,862	111,386	119,740	117,771	123,039	129,218	1,544,628

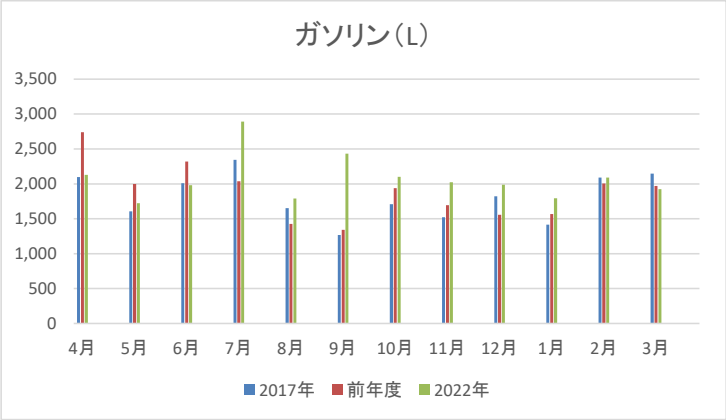
LPG使用量5.0%削減	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	×	様々な対策を行ったものの、目標値と使用量の差が大きく、残念な結果になった。次年度から目標値の見直しを行い現実的な数字で削減に取り組んでいく必要がある。
・最新式自動ロウ付機の導入 （フラックス分離投入式：不良削減、燃焼効率改善）	〇	
・エアコンの省エネ運転の推進（±1℃、-1H） （設定温度及び運転時間の見直し・適正化）	〇	



取組紹介　　LPG管理数値表示

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2017年	4,473	5,419	5,786	5,384	3,730	3,041	2,946	3,107	4,418	3,444	4,171	5,714	51,634
前年度	7,763	8,597	12,395	10,475	5,929	7,089	5,629	3,875	6,454	8,876	9,780	7,127	93,988
2022年	5,918	4,066	11,090	16,481	12,594	13,132	6,771	5,208	7,870	9,318	9,268	8,550	110,266

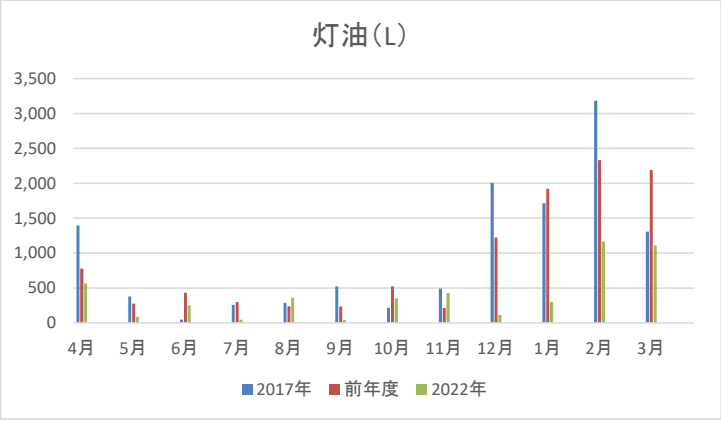
ガソリン使用量7.0%削減	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	○	1年を通して、しっかり削減が出来て、目標を達成することが出来た。EV車なども検討して更に削減出来るように活動していく。
・社員への啓蒙活動の更なる推進	○	



取組紹介　低速走行推奨

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2017年	2,096	1,607	2,009	2,345	1,652	1,268	1,709	1,520	1,821	1,417	2,090	2,147	21,680
前年度	2,741	1,997	2,321	2,036	1,426	1,342	1,937	1,694	1,555	1,566	2,005	1,971	22,591
2022年	2,128	1,721	1,981	2,892	1,788	2,433	2,102	2,023	1,987	1,795	2,089	1,924	24,863

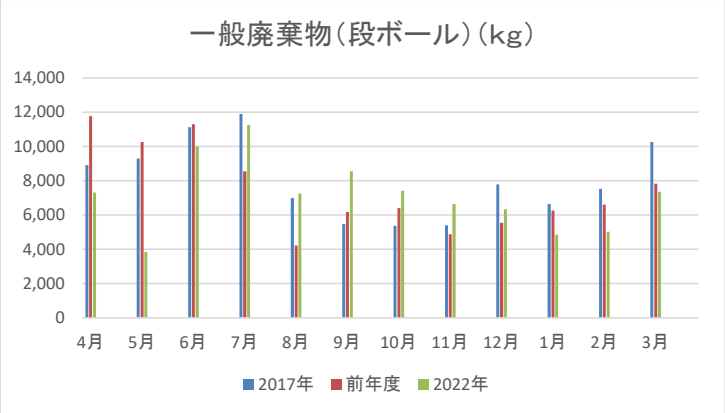
灯油使用量5.0%削減	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	◎	1年を通して、削減ができた。天候や環境の変化もあったが、削減への意識向上が結果に繋がった形になった。今後も更なる削減に取り組んでいく。
・社員への啓蒙活動の更なる推進	○	



取組紹介　ガス乾燥機導入

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2017年	1,397	378	47	260	288	522	217	493	2,003	1,713	3,183	1,309	11,810
前年度	778	276	433	298	237	234	524	213	1,221	1,923	2,333	2,190	10,660
2022年	565	84	250	46	362	41	352	427	115	302	1,166	1,110	4,820

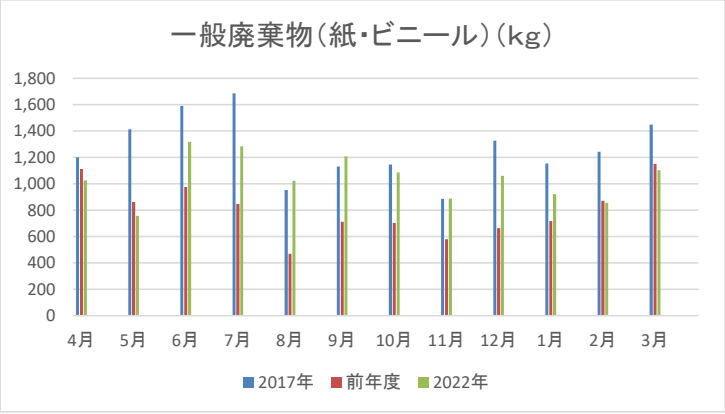
一般廃棄物（段ボール）の削減	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	◎	1年通してしっかり取り組めていることがわかる結果になった。再利用や、業者回収を引き続き行っていき、更なる削減に期待したい。
・梱包材（段ボール）のリユース・リサイクルの推進	◎	



取組紹介　　3R推進

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2017年	8,910	9,290	11,120	11,900	6,985	5,470	5,365	5,400	7,790	6,640	7,530	10,255	96,655
前年度	11,770	10,260	11,290	8,550	4,220	6,180	6,400	4,880	5,540	6,260	6,600	7,830	89,780
2022年	7,310	3,850	10,000	11,250	7,250	8,540	7,410	6,630	6,340	4,850	5,030	7,350	85,810

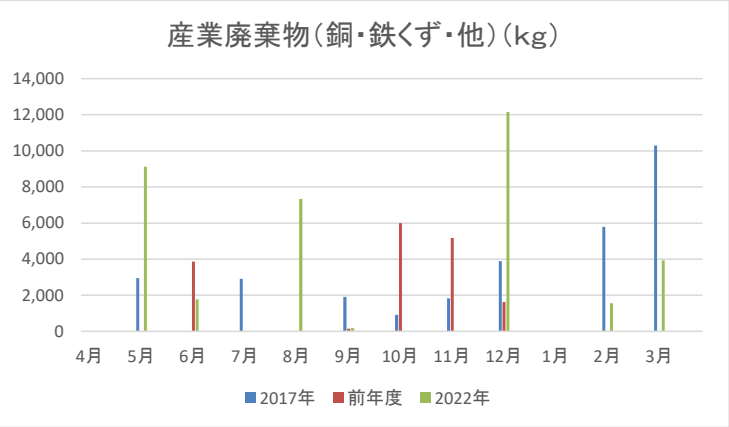
一般廃棄物（紙・ビニール）の削減	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	◎	1年を通して、大きく目標を達成できたことは評価できる。まだ改善の余地はあると感じた。今後の活動に期待したい。
・包装材（ビニール）の再利用（リユース）	○	
・両面コピーの推進（リユース）	○	



取組紹介　　ゴミの分別・計量の推進

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2017年	1,200	1,413	1,591	1,687	954	1,131	1,147	887	1,327	1,154	1,244	1,448	15,182
前年度	1,113	862	976	847	470	712	703	579	664	718	872	1,151	9,668
2022年	1,027	757	1,319	1,285	1,023	1,208	1,086	888	1,060	922	857	1,104	12,535

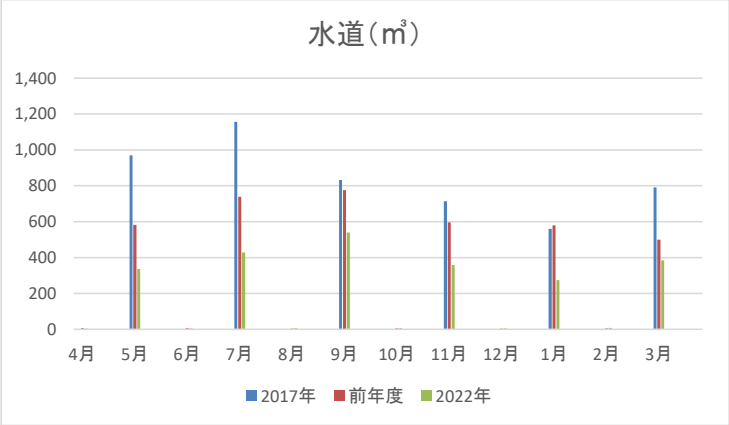
産業廃棄物（銅・鉄くず・他）	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	○	1年を通して目標は達成できたが、もっと削減していく必要がある。意識の向上も含め、取り組みの見直しをして、さらに推進を進めていく。
・不用治工具の再利用（リユース）	○	
・端材の分離廃棄（リディース）	○	
・廃棄物（設備）の再資源化（リサイクル）	○	



取組紹介　　廃棄物分別

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2017年	0	2,949	0	2,910	0	1,904	920	1,830	3,885	0	5,790	10,302	30,490
前年度	0	0	3,860	0	0	149	6,000	5,170	1,620	0	0	0	16,799
2022年	0	9,127	1,775	0	7,326	176	0	0	12,150	0	1,550	3,934	36,038

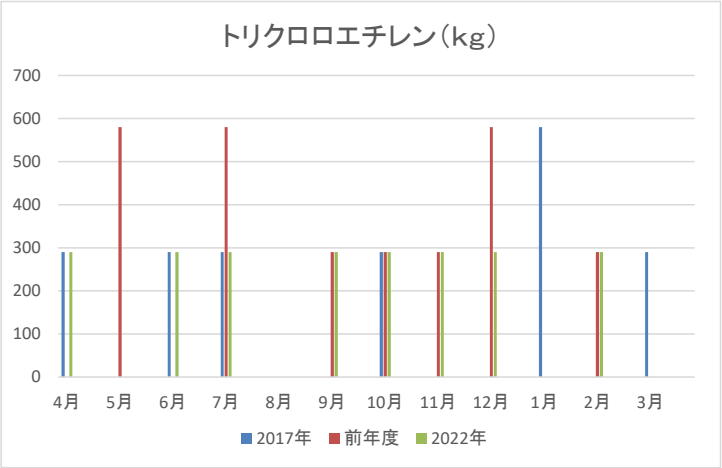
水使用量の削減	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	◎	目標を大きく上回る結果となった。これといった問題もなく安定して削減が出来た。今後も引き続きしっかり取り組んでいってほしい。
・節水（節水/不凍）コマの設置	○	
・昼食時お茶提供の見直し（ヤカン給茶提供廃止）	○	
・水道栓/配管のメンテナンス実施（漏水箇所修理）	○	



取組紹介　　節水の推進

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2017年	0	969	0	1,156	0	832	0	714	0	560	0	791	5,022
前年度	6	582	7	739	4	776	5	596	3	580	5	500	3,803
2022年	3	336	5	428	7	539	7	358	5	274	8	384	2,355

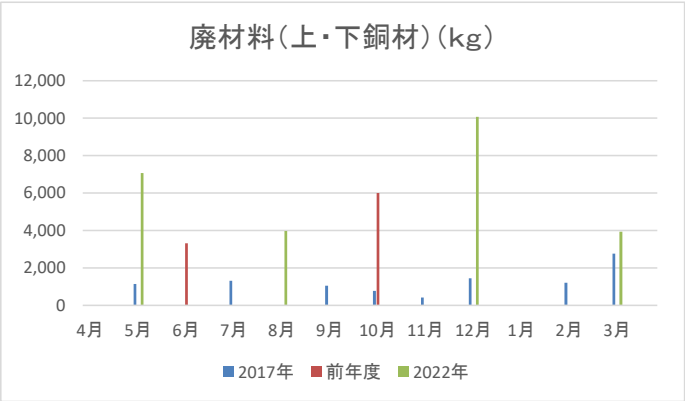
トリクロロエチレン洗浄の削減	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	○	目標を達成することは出来たが、更なる削減、または完全撤廃に向けしっかり取り組んでいく必要がある。
・トリクロロエチレン完全撤廃への取組み	○	
・再生品購入の推進	○	



取組紹介　　短時間洗浄の推進

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2017年	290	0	290	290	0	0	290	0	0	580	0	290	2,030
前年度	0	580	0	580	0	290	290	290	580	0	290	0	2,900
2022年	290	0	290	290	0	290	290	290	290	0	290	0	2,320

社長が取り上げた環境負荷の削減	達成状況	取組結果とその評価
・在庫日数前年比15%削減	×	しっかり取り組めているが、何のために活動をしているのか今一度考えて取り組んでもらえるとさらに良くなると感じた。
・端材の再利用	○	



取組紹介　　上下銅の分別

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2017年	0	1,150	0	1,315	0	1,057	780	420	1,445	0	1,210	2,760	10,137
前年度	0	0	3,320	0	0	0	6,000	0	0	0	0	0	9,320
2022年	0	7,067	0	0	3,981	0	0	0	10,070	0	0	3,934	25,052

環境に配慮した活動	達成状況	取組結果とその評価
・環境CSR対応	○	しっかり取り組めているが、何のために活動をしているのか今一度考えて取り組んでもらえるとさらに良くなると感じた。
・工場敷地内及び周辺清掃・緑化推進活動	◎	

取組紹介欄

・第3製造課屋根遮熱塗装　―――　遮熱塗装により工場内温度低減及び雨漏り補修　9月・10月実施

・富士宮市産業フェア出展　―――　製品紹介・キッズスタンプラリー（キーホルダー作り、曲げ体験）
11月19日・20日実施

出展ブース

曲げ体験コーナー

オリジナル製品紹介コーナー

キーホルダー作りコーナー

Ⅵ-2. 次年度環境経営活動計画

作成日：　2022年5月15日
更新日：　2022年5月16日

承認	確認	作成
社長 22.05.16 藤澤	技術 22.05.15 渡辺	技術 22.05.15 山本
代表者	環境管理責任者	

目　標 （方針に掲げた取組項目は必ず挙げる） （負荷の自己チェックで特定した項目）	目標達成手段 （取組の自己チェックで◎をつけた項目）	責任部門 責任者（担当者）	スケジュール 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	取組評価 （計）
電力使用量0.5%削減 基準年度実績　1,629,819 kWh 2021 年度　627,511 kg-CO2 基準年度（2021）　4.10 kWh/万円 使用する二酸化炭素排出係数； 中電0.482 アスエネ0.374　kg-CO_2/kWh **2023 年度目標** 基準年度比　99.5% 削減率　−0.5% 目標値　4.08 kWh/万円	・エアコンの省エネ運転の推進（±1℃、−1H） （設定温度及び運転時間の見直し・適正化） ・省エネ型設生産設備の導入（増設及び老朽設備） ・窒素発生装置の省エネ運転の推進 （生産に見合った「タイマー運転の活用）	技術：山本F	フィルター清掃＆点検		設定温度の見直し		運転時間の見直し			冬期使用の見直し					
		技術：渡辺B	老朽化設備のリストアップ			メーカーに見積り依頼及び発注			設備設置場所の整備			導入後の稼動状況チェックと実績の評価			
		生管：小沼A	タイマー運転状況の確認			タイマー運転時間の見直し			装置メンテナンス		タイマー運転時間の見直し			実績の評価	
		基準年　kWh/万円	3.48	3.73	3.46	4.69	8.32	5.87	4.07	3.66	4.20	4.00	4.73	3.32	4.10
		購入量　（累計）	3.48	3.60	3.55	3.75	4.07	4.26	4.24	4.18	4.18	4.16	4.22	4.10	4.10
		目　標　（単月）	**3.46**	**3.71**	**3.44**	**4.67**	**8.28**	**5.84**	**4.05**	**3.64**	**4.18**	**3.98**	**4.71**	**3.31**	**4.08**
		（累計）	**3.46**	**3.58**	**3.53**	**3.73**	**4.05**	**4.24**	**4.22**	**4.16**	**4.16**	**4.14**	**4.20**	**4.08**	**4.08**
LPG使用量0.5%削減 基準年度実績　93,984 kg 2021 年　281,951 kg-CO_2 基準年度（2021）　2.37 kg/十万円 使用する二酸化炭素排出係数；3.00 **2023 年度目標** 基準年度比　99.5% 削減率　−0.5% 目標値　2.36 kg/十万円	・最新式自動ロウ付機の導入 （フラックス分離投入式：不良削減、燃焼効率改善） ・エアコンの省エネ運転の推進（±1℃、−1H） （設定温度及び運転時間の見直し・適正化）	技術：渡辺B	最新方式の導入			品質（出来栄え）状況調査		導入エリアの確保と装置導入			導入後の稼動状況チェックと実績の評価				
		生管：小沼A	フィルター清掃＆点検		設定温度の見直し		運転時間の見直し			冬期使用の見直し					
		基準年　kg/十万円	1.63	2.04	2.63	3.55	4.77	3.34	2.02	1.55	2.52	2.53	2.91	1.43	2.37
		購入量　（累計）	1.63	1.82	2.10	2.35	2.52	2.61	2.54	2.44	2.45	2.46	2.50	2.37	2.37
		目　標　（単月）	**1.62**	**2.03**	**2.62**	**3.53**	**4.75**	**3.32**	**2.01**	**1.55**	**2.50**	**2.52**	**2.90**	**1.42**	**2.36**
		（累計）	**1.62**	**1.81**	**2.09**	**2.34**	**2.51**	**2.60**	**2.52**	**2.43**	**2.44**	**2.44**	**2.49**	**2.36**	**2.36**
灯油使用量0.5%削減 基準年度実績　9,811 L 2021 年　24,429 kg-CO_2 基準年度（2021）　2.47 L/百万円 使用する二酸化炭素排出係数；2.49 **2023 年度目標** 基準年度比　99.5% 削減率　−0.5% 目標値　2.46 L/百万円	・社員への啓蒙活動の更なる推進 （省エネ運転の推進）	生管：山田T	ポスター等を活用した啓蒙活動実施							灯油ストーブの点検実施			稼動チェックと実績の評価		
		基準年　L/百万円	1.63	0.65	0.92	1.01	1.91	1.10	0.90	0.85	4.76	4.93	6.36	4.03	2.47
		購入量　（累計）	1.63	1.17	1.08	1.07	1.13	1.13	1.10	1.08	1.41	1.81	2.25	2.47	2.47
		目　標　（単月）	**1.62**	**0.65**	**0.91**	**1.00**	**1.90**	**1.10**	**0.90**	**0.85**	**4.74**	**4.91**	**6.32**	**4.01**	**2.46**
		（累計）	**1.62**	**1.17**	**1.08**	**1.07**	**1.12**	**1.12**	**1.09**	**1.07**	**1.41**	**1.80**	**2.24**	**2.46**	**2.46**
ガソリン使用量0.5%削減 基準年度実績　22,086 L 2021 年　51,239 kg-CO2 基準年度（2021）　5.56 L/百万円 使用する二酸化炭素排出係数；2.32 **2023 年度目標** 基準年度比　99.5% 削減率　−0.5% 目標値　5.53 L/百万円	・社員への啓蒙活動の更なる推進 （省エネ運転の推進）	生管：山田T	ポスター等を活用した啓蒙活動実施			社用車の定期整備の実施						稼動チェックと実績の評価			
		基準年　L/百万円	5.54	4.73	4.73	6.78	11.48	6.18	6.71	6.66	5.82	4.34	5.97	3.87	5.56
		購入量　（累計）	5.54	5.16	5.01	5.33	5.75	5.80	5.91	5.98	5.97	5.79	5.80	5.56	5.56
		目　標　（単月）	**5.51**	**4.70**	**4.71**	**6.75**	**11.42**	**6.15**	**6.68**	**6.63**	**5.79**	**4.32**	**5.94**	**3.85**	**5.53**
		（累計）	**5.51**	**5.13**	**4.99**	**5.30**	**5.72**	**5.77**	**5.88**	**5.95**	**5.94**	**5.76**	**5.78**	**5.53**	**5.53**

目　　標 （方針に掲げた取組項目は必ず挙げる） （負荷の自己チェックで特定した項目）	目標達成手段 （取組の自己チェックで◎をつけた項目）	責任部門 責任者（担当者）	スケジュール 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	取組評価 （計）
一般廃棄物（段ボール）の削減	・梱包材（段ボール）の再利用（リユース）	生管：　山田T	梱包材（段ボール）の再利用推進												
基準年度実績															
2021 年　89,780 kg															
基準年度（2021）　2.26 kg/十万円		基準年 kg/十万円	2.46	2.43	2.40	2.90	3.40	2.91	2.30	1.96	2.16	1.78	1.97	1.57	2.26
		廃棄量 （累計）	2.46	2.45	2.43	2.51	2.57	2.61	2.57	2.51	2.48	2.40	2.36	2.26	2.26
2023 年度目標		目 標 （単月）	**2.45**	**2.42**	**2.38**	**2.88**	**3.38**	**2.90**	**2.29**	**1.95**	**2.15**	**1.77**	**1.96**	**1.57**	**2.25**
基準年度比　99.5%		（累計）	**2.45**	**2.44**	**2.42**	**2.50**	**2.56**	**2.60**	**2.56**	**2.50**	**2.47**	**2.39**	**2.35**	**2.25**	**2.25**
削減率　−0.5%															
目標値　2.25 kg/十万円															
一般廃棄物（紙・ビニール）の削減	・包装材（ビニール）の再利用（リユース） ・両面コピーの推進（リユース）	生管：小沼A	梱包材（ビニール袋）の再利用推進												
基準年度実績		生管：山田T	両面コピー・裏紙使用の推進												
2021 年　9,668 kg															
基準年度（2021）　2.43 kg/百万円		基準年 kg/百万円	2.33	2.04	2.07	2.87	3.78	3.36	2.53	2.32	2.59	2.04	2.60	2.31	2.43
		廃棄量 （累計）	2.33	2.20	2.15	2.28	2.38	2.49	2.49	2.48	2.49	2.44	2.45	2.43	2.43
2023 年度目標		目 標 （単月）	**2.32**	**2.03**	**2.06**	**2.85**	**3.76**	**3.34**	**2.52**	**2.31**	**2.58**	**2.03**	**2.59**	**2.30**	**2.42**
基準年度比　99.5%		（累計）	**2.32**	**2.18**	**2.14**	**2.27**	**2.37**	**2.47**	**2.48**	**2.46**	**2.47**	**2.42**	**2.44**	**2.42**	**2.42**
削減率　−0.5%															
目標値　2.42 kg/百万円															
産業廃棄物（銅・鉄くず・他）の削減	・不用治工具の再利用（リユース） ・端材の分離廃棄（リディース） ・廃棄物（設備）の再資源化（リサイクル）	技術：山本F	治工具再利用												
基準年度実績		技術：山本F				分別廃棄の周知									
2021 年　16,799 kg		生管：小沼A							廃却設備の洗出し＆修理						
基準年度（2021）　4.23 kg/百万円		基準年 kg/百万円	0.00	0.00	8.19	0.00	0.00	0.70	21.58	20.74	6.32	0.00	0.00	0.00	4.23
		廃棄量 （累計）	0.00	0.00	2.82	2.32	2.16	2.00	4.39	6.00	6.03	5.35	4.84	4.23	4.23
2023 年度目標		目 標 （単月）	**0.00**	**0.00**	**8.15**	**0.00**	**0.00**	**0.70**	**21.47**	**20.64**	**6.29**	**0.00**	**0.00**	**0.00**	**4.21**
基準年度比　99.5%		（累計）	**0.00**	**0.00**	**2.80**	**2.30**	**2.14**	**1.99**	**4.37**	**5.97**	**6.00**	**5.33**	**4.81**	**4.21**	**4.21**
削減率　−0.5%															
目標値　4.21 kg/百万円															
水使用量の削減	・節水（節水/不凍）コマの設置 ・昼食時お茶提供の見直し（ヤカン給茶提供廃止） ・水道栓/配管のメンテナンス実施（漏水箇所修理）	技術：山本F	節水（節水/不凍）コマの設置												
基準年度実績		経理：酒井T				昼食時お茶提供の見直し									
2021 年　3,773 ㎥		生管：小沼A							水道栓/配管のメンテナンス実施						
基準年度（2021）　0.95 ㎥/百万円		基準年 ㎥/百万円	0.00	1.38	0.00	2.50	0.00	3.66	0.00	2.39	0.00	1.65	0.00	1.00	0.95
		（累計）	0.00	0.65	0.42	0.79	0.74	1.05	0.92	1.06	0.97	1.04	0.94	0.95	0.95
2023 年度目標		目 標 （単月）	**0.00**	**1.37**	**0.00**	**2.49**	**0.00**	**3.64**	**0.00**	**2.38**	**0.00**	**1.64**	**0.00**	**1.00**	**0.95**
基準年度比　99.5%		（累計）	**0.00**	**0.64**	**0.42**	**0.79**	**0.73**	**1.04**	**0.91**	**1.06**	**0.96**	**1.04**	**0.94**	**0.95**	**0.95**
削減率　−0.5%															
目標値　0.95 ㎥/百万円															
有機溶剤の適正管理	・NSクリーン200の使用状況の把握・管理	製造：下山J	用状況の把握・管理 NSクリーン200の使用状況の把握・管理												
基準年度実績															
2021 年　0 Kg															
基準年度（2021）　0.00 kg/百万円	データ取り調査中	基準年 kg/百万円													
		（累計）													
2023 年度目標		目 標 （単月）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
基準年度比　99.5%		（累計）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
削減率　−0.5%															
目標値　0.00 kg/百万円															

目　　標 （方針に掲げた取組項目は必ず挙げる） （負荷の自己チェックで特定した項目）	目標達成手段 （取組の自己チェックで◎をつけた項目）	責任部門 責任者（担当者）	スケジュール 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	取組評価 （計）
社長が取り上げた環境負荷の削減 **廃材料（上・下銅材）の削減**	・在庫日数前年比15%削減 （先行生産の徹底圧縮と必要性の理論的把握）	生管：山田T	製品、仕掛品、サービス部品、不動製品の適正把握（8,9,12,3月棚卸実施）												
							棚卸	棚卸			棚卸			棚卸	
基準年度実績	・端材の再利用	生管：山田T	端材再利用の推進												
2021 年　9,320 kg		基準年 kg/百万円	0.00	0.00	7.05	0.00	0.00	0.00	21.58	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2.35
基準年度（2021）　2.35 kg/百万円		廃棄量　（累計）	0.00	0.00	2.42	1.99	1.85	1.66	4.09	3.68	3.34	2.97	2.68	2.35	2.35
2023 年度目標		目　標　（単月）	**0.00**	**0.00**	**7.01**	**0.00**	**0.00**	**0.00**	**21.47**	**0.00**	**0.00**	**0.00**	**0.00**	**0.00**	**2.34**
基準年度比　99.5%		（累計）	**0.00**	**0.00**	**2.41**	**1.98**	**1.84**	**1.65**	**4.07**	**3.67**	**3.33**	**2.96**	**2.67**	**2.34**	**2.34**
削減率　−0.5%															
目標値　2.34 kg/百万円															
社長が取り上げた環境負荷の削減 **環境に配慮した活動**	・環境CSR対応	総責任：藤澤P								計画					
	・工場敷地内及び周辺清掃・緑化推進活動	技術：渡辺B	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画	
課題を解決しチャンスを活かす取組	・技術の継承										計画	計画	計画	計画	
	・企業PRIによる顧客獲得		計画	計画						計画	計画				
	・事業拡大のための資金調達、人材確保			計画	計画	計画	計画								
	・新製品・商品開発								計画	計画	計画				
	・働き方改革												計画	計画	
年間活動計画															
環境教育　一般教育	・環境方針・目標・活動計画の周知	環境事務局	計画		計画			計画	計画		計画		計画		
幹部教育	・環境目標・環境活動進捗状況確認・評価	環境管理責任者		計画		計画		計画		計画		計画		計画	
特別教育	・資格取得・更新のため研修会参加	環境事務局					計画								
緊急事態対応訓練	・定期的に実施（火災対応訓練9月）	環境事務局						計画							
環境関連法規等の遵守評価	・遵守評価前に環境関連法規等の追加、改正を確認する	環境事務局					計画								
代表者による全体の評価と見直し	・振り返って方針・目標・活動計画等を見直す	代表者											計画		
環境経営レポート	・作成と地域事務局への送付	環境事務局											計画		
審査申し込み	・余裕をもって2か月前には申し込む							計画							
会社周辺の清掃活動		持ち回り	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画	

保管：EA21推進事務局

様式：5-01（5.環境関連法規等のとりまとめ）

Ⅶ. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

承　認	点検日
2023.4.3	2023.4.3
点検者	点検者
技術 23.04.03 渡辺 環境管理責任者	技術 23.04.03 山本

1. 環境関連法規等の遵守状況

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、
違反はありませんでした。

法規・条例・規制	適用内容又は規制基準値	備考	届出等確認日	遵守状況
廃棄物処理法	＊保管施設の表示と保管基準の遵守	表示板(60cmx60cm)	－	○
	＊収集運搬業者及び処分業者との委託契約	契約書	－	
	＊委託契約書の保管	5年間	－	
	＊マニフェストの管理	5年間	－	
	＊マニフェストの交付状況報告	年1回	2022.5.16届出	
	＊特別管理産業廃棄物管理責任者の届出		2021.3.4届出	
静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例	事業者は、その産業廃棄物の運搬又は処分を業者に委託する時は当該委託に係る施設の状況その他で定める事項を実地に確認しなければならない。	年1回以上	（株）ホクセイ<産業廃棄物処理業者> 2022.1.25 確認	○
水質汚濁防止法	＊工場廃水の水質検査	月1回 自主検査	－	○
	＊適用される排出基準の遵守	市の立入検査	2020.2.7検査	
		県の立入検査	2019.7.22検査	
	＊水質汚濁防止法に係る特定施設移動届出書	県への提出	2010.7.26届出	
浄化槽法	＊指定機関による11条検査の実施	年1回	2022.6.14実施	○
	＊保守点検・清掃の実施	年1回以上	－	
騒音規制法	＊適用される騒音基準の遵守	ｴｱｰｺﾝﾌﾟﾚｯｻ　7台	2017.10.16届出	○
	（県条例3.75kw以上）			
振動規制法	＊適用される振動基準の遵守	ｴｱｰｺﾝﾌﾟﾚｯｻ　7台	2017.10.16届出	○
	（県条例7.5kw以上）			
PRTR法	＊環境省への情報公開の遵守	年1回	2022.5.16届出	○
フロン排出抑制法	＊適用される全ての第一種特定製品の点検・記録・報告・保管（廃棄後3年間）の遵守	（業務用の空調機器）		○
		簡易点検：全て	－	
関連法規	① 家電リサイクル法・パソコンリサイクル法	社有家電、OAﾊﾟｿｺﾝなど	－	○
	② 自動車リサイクル法	社有車	－	
	③高圧ガス保安法（CEも含む）	年1回メーカー検査	－	
労働安全衛生法	＊トリクレン洗浄時の安全基準の遵守	防具着用	－	○
	＊作業環境測定	年2回	2022.7.8実施	
	＊社員の健康診断の実施	健康診断　（年1回）	2022.9.12・14実施	
消防法	＊適用される消防基準の遵守	炭化水素洗浄装置	1997.12.2届出	○
		少量危険物取扱い届書		
		バルク貯蔵取り扱い届書	2017.12.13届出	

2. 訴訟等の有無

関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟も過去3年間ありませんでした。

3. その他の規制

＊ RoHS規制 ： 製造製品に対して以下6品目の不含有の遵守
不含有確認対象品目
自給銅管材料・自給ｽﾄﾚｰﾅ・ﾛｰ材
ﾏｰｷﾝｸﾞ用ﾍﾟｲﾝﾄﾏｰｶｰ
※原則的に客先指定図面の支給部品に関しては客先にて確認

カドミウム・六価クロム・水銀・鉛
ポリブロモビフェニル
ポリブロモジフェニルエーテル

＊ REACH規則 ： 自社調達納入資材すべての含有化学物質の客先への情報伝達の遵守

＊ SDS ： 化学物質等の安全データーシートの把握とデーター収集（トリクレン）

＊グリーン購入法　国、独立行政法人及び地方公共団体による環境物品等の調達の推進、情報の提供

2023年3月31日作成

Ⅷ.代表者による全体の評価と見直し・指示

活動期間：2022年度（2022年4月～2023年3月まで）

環境管理責任者	検印
渡辺　心一	技術 23.03.31 渡辺

1.環境活動の取組のチェック

	項　　目	チェック	必要に応じて評価・コメントを記入
①	エコアクション21文書の作成と保管と整理	☑	2017年度版に準拠した環境活動レポートの作成。 環境活動の取組・負荷の自己チェック表の作成。 （ｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝ2017年版に準拠したフォームで作成）
②	環境方針・環境目標及び目標達成状況の確認	☑	2017年度版のｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝに沿った環境方針・目標を策定した。 2017年度を基準年度とし、環境目標を設定した。
③	環境活動計画及び取り組み実施状況の確認	☑	生産途中で発生する銅管の廃棄物について、 各職場ごとに廃棄量を測定し、毎週役職朝会で情報を共有し 発生原因を突き止める取組みを展開している。
④	教育・訓練の実施状況	☑	ゴミの分別や役職者も率先してアイデアを出し、 社員に環境活動を積極的に推進していた。 環境月間に訓示及び標語を募集。
⑤	環境関連法規遵守状況	☑	関係省庁への報告や廃棄物・特定化学物質の管理を 徹底して行い、適法遵守に努めた。
⑥	外部コミュニケーション・対応記録	☑	地域の中・高校生の見学やインターシップを通じ、 事業内容と環境活動の取り組みをPR。
⑦	問題点の是正・予防措置の実施状況	☑	LPG使用量増加（GHP切り替えが大きな要因）。 是正に取り組むも、改善につながってない。
⑧	RoSH・REACH規制対応	☑	客先より要請のある、欧州環境規制に対応。 製品の規制物質の含有確認を実施 ⇒継続中

統括責任者	検印
藤澤　尚朗	社長 23.3.31 藤澤

2.統括責任者による環境経営システムの見直し

	項　　目	見直し	見直し事項等
①	環境方針	有・(無)	2019年4月1日に見直し改定。
②	環境目標・計画	(有)・無	環境に対する意識の向上、周知を再度徹底する。 目標・計画の見直しが必要。2023度から実施。
③	環境活動計画・取組項目	有・(無)	継続して銅管の廃棄量について状況を把握し改善点を模索し、削減活動をしていく。
④	環境関連法規対応	有・(無)	
⑤	実施体制	有・(無)	継続して実施する。

全体評価「総括」

本年度も新型コロナウイルスの影響で、部品の供給困難により、安定した生産が出来ず、厳しい1年となった。銅管の値上がり、物価の上昇、光熱費の上昇もあり、コストを抑えるために環境への取り組みに力を入れた1年だった。不良品の削減が出来れば、産業廃棄物をもっと減らせたはず。電気会社変更による電気料金削減は評価できる。老朽設備の更新も行った。今後に注視したい。環境目標の見直しを行い、各部署目標に向かって、しっかりと取り組んでもらいたい。